

「Q&A」タイトル一覧表

2018年11月29日版

【目 次】

『SS3』	入力	基本事項	P.2	『WRC』	入力	壁・曲げ補強筋・ フレーム外雑壁	P.35			
		計算条件	P.2			壁梁・基礎梁	P.35			
		特殊形状	P.2			開口・開口包絡	P.35			
		使用材料	P.2			床・小梁・片持ち床・片持ち梁	P.35			
		荷重	P.2			支点	P.36			
		部材登録	P.3			荷重・土圧・パラペット	P.36			
		鉄骨鋼材	P.3			特殊形状・階・フレーム	P.36			
		部材配置	P.3			計算関係・その他	P.37			
		特殊荷重	P.3			計算	—	P.38		
		剛性	P.4			出力	—	P.39		
		応力	P.4			ERROR・WARNING	ERROR	P.41		
		断面算定	P.4				WARNING	P.41		
		保有水平耐力	P.5			作図	—	P.42		
		マウス入力	P.5			その他	—	P.42		
		CSV入力	P.6			『RC診断2001』	入力	建物規模	P.43	
		その他	P.6					耐震診断方法	P.43	
		計算	剛性					P.8	壁の配筋／雑壁の追加	P.43
	荷重		P.8	鉛直部材の直接入力	P.43					
	地震力		P.9	地震時付加軸力	P.43					
	風・積雪		P.9	増設ブレース	P.43					
	応力解析		P.10	袖壁反曲点高さの直接入力	P.43					
	ルート判定		P.10	その他	P.43					
	断面算定		P.11	計算	1次診断			P.43		
	接合部		P.14		2・3次診断			P.44		
	保有水平耐力		P.14		第2種構造要素			P.45		
	必要保有水平耐力		P.15		形状指標			P.45		
	せん断設計		P.15		その他			P.45		
	部材耐力計算		P.15	出力	1次診断			P.46		
	その他		P.16		2・3次診断			P.46		
	出力		準備計算		P.17			増設ブレース	P.46	
			応力結果		P.17			第2種構造要素	P.46	
			応力まとめ		P.18	形状指標	P.46			
			断面算定		P.18	その他	P.47			
接合部		P.20	ERROR・WARNING		ERROR	P.47				
保有水平耐力計算		P.20			WARNING	P.48				
その他		P.21	作図		作図	P.48				
ERROR		メッセージ	P.22		リンク・その他	リンク	P.48			
		その他	P.23			その他	P.48			
WARNING		—	P.24		『耐震診断』	入力	—	P.50		
作図		—	P.27				計算	—	P.50	
構造計算書		構造計算書出力	P.27				出力	—	P.51	
		その他	P.28				ERROR	—	P.51	
『BF1』		入力	—				P.30	WARNING	—	P.51
			計算				P.31	リンク	—	P.51
			出力	P.33			『Q&A』閲覧方法	—	P.52	
			ERROR	P.33						
	作図		P.34							
	SoilBase		P.34							
	その他		P.34							
	リンク		P.34							

カテゴリ		タイトル	文章番号	
『SS3』	入力	基本事項	保有水平耐力計算や限界耐力計算を行いたい	1626
			計算ルート2-3で1次設計を行い、保有水平耐力まで計算したい	1622
			最下層以外の基礎形式について	1514
			限界耐力計算が指定できない	1455
			各層梁天から部材心までの距離を“INPUT”の状態に戻したい	1454
			[1基本事項-26.軸の追加]で追加軸までの距離が入力できない	1453
		計算条件	せん断補強筋の基準強度の割り増し率について	2649
			付着割裂破壊防止の検討について	2474
			耐震壁周りの部材の算定を“しない”としているが、断面算定結果が出力される	2444
			弾塑性解析が1ステップで終了する	2405
			柱軸変形用断面積(A_n)について	2286
			耐震壁周りの梁の剛度増大率について	2289
			床によるIの計算方法が指定できない	1459
			接合部の検討における柱有効せい係数の下限値について	1456
			特殊形状	腰折れセットバックの腰折れ高さについて
		柱の回転を入力したが反映されない		2479
		節点の上下移動で移動する節点位置について		2394
		入力どおりの形状にセットバックしない		1631
		軸振れのフレームに平行な片持ち梁を入力したい		1628
		下階はセットバックし、上階では柱が鉛直となる形状を入力したい		1460
		ある階だけ隅切りをしたい		1457
		使用材料	SS・SM材とSN材を混在したい	3045
			冷間成形角形鋼管でBCRとBCPの両方を使いたい	2609
			SD490を使用したい	2416
			コンクリートの設計基準強度 F_c を部材ごとに指定したい	2369
			ブレースに冷間成形角形鋼管を使用したい	2334
			フランジとウェブの鉄骨種別を変更したい	1637
			冷間成形角形鋼管を使用した場合の柱種別の指定について	1634
		荷重	風荷重を直接入力したい	1819
			土圧と水圧を同時に作用させたい	1818
			水平外力の直接入力に入力する数値について	1817
			水平外力の直接入力指定できない	1816

カテゴリ		タイトル	文章番号	
『SS3』	(入力)	(荷重)	積載荷重の非歩行屋根、倉庫、書庫の参考文献について	1814
			梁CMoQo算定の際、壁の取り扱いについて	1812
			積載荷重が登録されない	1784
	部材登録	メーカー製品ブレースの製品登録Noについて	3021	
		鉄骨鋼材登録に登録されていないサイズを使用したい	1847	
		開口の登録について	1845	
		小梁を同一方向に任意の間隔で4本以上入力する方法	1841	
		床のT.Lが入力できない	1838	
		壁や床の仕上重量の入力について	1837	
	鉄骨鋼材	円形鋼管STKを使用する方法	2361	
		熱間成形角形鋼管(SHC)を使用する方法	1863	
		鉄骨鋼材の登録方法と、鉄骨鋼材ファイルの保存・読み込み方法について	1853	
	部材配置	小梁に区切られた床ブレースの配置方法について	2670	
		二重スラブの床組(小梁)配置について	2363	
		片持ち床のリブが作図されない	2267	
		耐震壁にならない壁を強制的に耐震壁にする方法	1908	
		任意の箇所に部材が配置できない	1894	
		登録数を増やすことはできますか？	1890	
		断面性能を直接入力した部材が配置できない	1886	
		入力どおりに梁の結合状態が反映されない	1880	
		RC造建物に鉄骨ブレースを配置したい	1874	
		L形床への床組(小梁)配置について	1869	
	特殊荷重	ダミー部材に配置した特殊荷重について	3020	
		WARNING No.373 節点のない箇所にフレーム外雑壁を配置した	2443	
		加力方向に直交する荷重を入力したい	1458	
		特殊荷重の取り扱いについて	1962	
		特殊荷重タイプ14で小梁本数が1本の場合の入力方法	1960	
		特殊荷重タイプ11～13のパラメータP3について	1957	
		梁のCMoQoを0(ゼロ)にしたい	1952	
		フレーム外雑壁の距離を入力する際の基点について	1949	
		フレーム外雑壁の仕上重量について	1947	
		節点補正重量が3000kNしか入力できない	1941	

カテゴリ		タイトル	文章番号	
『SS3』	(入力)	(特殊荷重)	各階補正地震用重量が指定できない	1936
		剛性	弾塑性解析時の剛性低下率について	2404
			剛度増大率の優先順位について	2335
			床ブレースの断面積について	2279
			片側(右上がりまたは右下がり)ブレースで引張のみ有効とする方法について	2143
			長期時(固定+積載荷重時)にブレース軸力を負担させないようにしたい	2119
			腰折れセットバックした柱に隣接する柱において、腰壁が配置されているのに剛域が生じない	1970
			袖壁・腰壁・垂壁の有効断面の低減率について	1968
			剛域の入力について	1963
		応力	層間変形角算定時の階高について	1976
			同一節点に荷重ケースごとで剛床仮定の解除を指定したい	1975
			多層にわたる柱に一樣なモーメント勾配(せん断力)が発生するように解析したい	1974
			[11.1 支点の状態]での回転バネ定数の入力単位[kNm/rad × 10]について	1972
		断面算定	ダイアフラム形式の認識について	2683
			引張のみ有効としたときのブレースのλについて	2569
			柱脚形状の項目が指定できない	2433
			耐震壁の開口補強について	2333
			アンカーボルトの長さについて	2299
			一本部材の指定をした部材のジョイント位置について	2278
			配筋情報を削除せずに選定計算を行いたい	2178
			寄筋としたときの鉄筋本数の入力について	2132
			符号No.の横に表示される“*”について	2001
			同一層(階)で配筋をコピーしたい	1999
			壁や床の配筋を入力したい	1998
			耐震壁の断面算定を一部省略したい	1997
			F10T以外の高力ボルトを指定したい	1996
			SRC造柱の柱脚をRC造にしたい	1992
			jtWの入力箇所について	1991
			選定計算の結果読込で2段筋配筋にならない	1989
			SRC部材で鉄骨のみを選定したい	1987
			柱符号と配筋で表示される“TuTd”や“TITr”について	1986
			「柱脚形状を入力できません」について	1982

カテゴリ		タイトル	文章番号	
『SS3』	(入力)	(断面算定)	柱脚耐力を考慮した場合のDs値の割増しについて	1977
		[設計用応力の割増し]の[方向別]または[階とフレーム]の項目を初期化(未入力に)する方法	1604	
		ジョイント位置までの距離を入力する際の基点について	1602	
		柱脚形状を入力したときのバネ定数の入力について	1601	
		S造露出柱脚の場合のアンカーボルトのF値の採用について	1600	
		基礎柱のhについて	1586	
		X方向とY方向で柱主筋径が異なる場合の入力方法について	1585	
		接合部の断面算定を一部省略したい	1583	
		設計用応力の割増しを複数指定した場合の計算について	1577	
		応力値の直接入力の符号(+,-)について	1573	
		符号名称の初期設定について	1571	
		符号名を変更したい	1570	
		スーパーハイベースの配置方向の指定について	1567	
		保有水平耐力	[崩壊形保証の為にクライテリア]の参考文献について	2605
			増分解析においてせん断ひび割れが考慮されない	2362
			梁Muの計算におけるスラブ筋の考慮について	2273
			[14限界耐力計算&保有水平耐力関連データ]が指定できない	1737
			剛性低下率が転送されない部材がある	1735
			一方向のみ保有水平耐力を計算したい	1713
			ヒンジ発生位置を指定したい	1712
	スラブ筋の入力方法について		1711	
	垂・腰・袖壁の配筋が入力できない		1710	
	基準強度の割増し率を入力したい		1668	
	Mc算定式の係数について		1647	
	軸力の影響を受けない柱の曲げ耐力の入力方法について		1641	
	局部崩壊で耐力低減せずに解析する方法		1639	
	保有水平耐力計算の外力分布を変更したい		1638	
	増分解析でPH階の影響を考慮したくない		1608	
	[RC梁・柱Quの算定式]で“靱性指針式”を指定した場合の高強度せん断補強筋の認識について		1461	
	マウス入力		鉄骨プレースの単位重量が入力できない	2865
			入力したRC部材がSRC部材に変更される	2521
			見付面積の直接入力について	2495

カテゴリ			タイトル	文章番号
『SS3』	(入力)	(マウス入力)	傾斜した大梁に平行な小梁を配置したい	2347
			特殊荷重が配置できない	1777
			間違って消したものを元に戻したい	1776
			フレーム外雑壁が赤く表示される	1775
			床組が赤く表示される	1774
			鉄骨小梁の配置方法について	1773
			基準階で柱符号が“*”と出力される	1772
			積雪荷重を考慮する床の入力方法	1771
			多スパンにわたる床組の入力方法	1770
			開口データをコピーして配置したい	1769
			屋根面風力係数が入力できない	1768
			マウス入力耐震壁にならない壁を強制的に耐震壁にする方法	1767
			特殊荷重登録で入力済みにならない	1766
			スリットが入力できない	1765
			壁の表示色が異なる	1764
			片持ち床を一度に配置したい	1763
			アイコンを画面上に表示させる方法	1762
			小梁を均等配置からスパン配置に変更したい	1759
			SRC柱の内部鉄骨がT形となる場合の向きを変更したい	1750
			軸振れの入力方法について	1745
	マウス入力の部材ウィンドウが表示されない	1744		
	床・小梁の自動設計で床の断面検定結果が出力されない	1741		
	床組の一部を吹き抜けにすることができない	1739		
	CSV入力	CSVファイル入出力の機能で新規データを作成する方法について	1779	
	その他	別途計算機能[機械式定着の検定]が進入禁止となっている	2686	
		リブプレートのex、eyが入力できない	2526	
		別途計算機能[耐震壁の自動設計][柱脚の自動設計]が進入禁止となっている	2446	
		重複したデータの取り扱いについて	2340	
		『SS3』と『BF1』を連携使用する場合の操作手順について	2107	
		[断面リスト編集]でS梁の端部断面を変更しても[マウス入力]の梁リストに反映されない	1804	
		壁ごとに異形鉄筋と丸鋼を使い分けたい	1797	
		S部材とSRC部材の鉄骨種別を個別に指定したい	1796	

カテゴリ			タイトル	文章番号
『SS3』	(入力)	(その他)	地中梁を配置していない架構で柱脚バネ定数が考慮されない	1789
			BF1の解析結果を読み込む方法	1788
			RC2次部材データ作成ができない	1787
			風荷重に吹き上げを考慮したモデル化について	1786
			K型ブレースの入力方法	1785
			作図と入力画面を同時に表示したい	1645
			スカラップ寸法を個別に指定したい	1644
			保有水平耐力計算時において、特定のフレームを解析したくない	1643
			柱脚のバネ定数について	1642
			[13.10BF1の利用方法]が開けない	1640

カテゴリ		タイトル	文章番号	
『SS3』	計算	剛性	二重スラブとした場合の基礎梁の剛性計算について	2684
			床を考慮した梁の断面積について	2607
			【検証例】ハンチ付き梁の剛域計算について	2589
			剛性計算で採用する断面について	2559
			袖壁を入力したが梁に剛域が出ない	2400
			剛性低下率と剛度増大率の違いについて	2275
			ハンチ部材の剛性計算について	2144
			【検証例】鉄筋による剛度増大率 ϕ_w 、 ϕ_A の計算方法について	2136
			S部材のせん断剛度増大率が1.00未満になる	2124
			S部材に取り付いた壁の剛域について	1946
			12cm以上の壁厚で無開口なのに耐震壁と判定されない	1656
			吹き抜け部分に接する梁に床による剛度増大率が考慮されている	1655
			剛比の計算方法	1654
			柱・梁の部材剛性に考慮する袖壁・腰壁・垂壁の認識について	1653
			スリットを設けた壁に取り付く梁に剛域が考慮される	1652
			SRC(RC)柱にS梁が取り付く場合の袖壁の考慮について	1651
			柱の剛性計算における直交壁の考慮について	1650
			S造ハンチ梁のA・Iの計算方法について	1649
			床を考慮したS梁の剛性計算について	1648
			協力幅の計算における小梁の考慮について	1646
			荷重	荷重
	傾斜した床の荷重について	3058		
	ハンチ部材の自重について	2681		
	SRC部材の自重について	2675		
	二重スラブとしたときの基礎梁自重について	2653		
	パラペットの重量について	2643		
	床ブレースの重量について	2445		
	土圧が作用する面積について	2606		
	ブレースの自重について	2602		
	【検証例】べた基礎の接地圧の計算について	2591		
	【検証例】大梁 $CMoQo$ の計算について	2590		
	柱軸力の低減が考慮されない	2493		

カテゴリ		タイトル	文章番号		
『SS3』	(計算)	(荷重)	外部袖壁の重量計算における梁のレベル調整の考慮について	2212	
			柱型の重量について	2365	
			開口部の重量について	2391	
			S造建物の外周部床の考慮について	2307	
			ダミー小梁を配置したときの床荷重について	2293	
			建物外周部床の荷重について	2274	
			外周部床の考慮について	2158	
			大梁自重の計算において、大梁と片持ち床との重複分の取り扱いについて	2145	
			【検証例】風荷重(k_z, W)の計算について	2135	
			応力計算用特殊荷重“タイプ0: 節点荷重”の水平荷重の作用方向について	2122	
			べた基礎で、片側土圧入力時の接地圧の計算について	1670	
			柱の回転と特殊荷重の方向について	1669	
			断面性能直接入力した部材の自重について	1667	
			片持ち床の先端に配置したフレーム外雑壁の荷重伝達について	1666	
			フレーム外雑壁の自重を計算する際の高さについて	1665	
			概算軸力の W/A の床面積の計算について	1664	
			L型の床の荷重伝達について	1663	
			建物の外側に配置したフレーム外雑壁の荷重伝達について	1662	
			小梁上に配置したフレーム外雑壁の荷重伝達について	1661	
			斜材に作用する特殊荷重の方向について	1660	
			節点重量表のフレーム外雑壁の重量について	1659	
			概算軸力の総和と接地圧の軸力の総和が異なる	1658	
			部分地下の形状でべた基礎とした場合の接地圧の考慮について	1657	
			地震力	CFT造の固有周期について	2491
				直接入力した水平外力の保有水平耐力計算における扱いについて	2420
				地震用重量の計算における柱や壁の自重の取り扱いについて	2350
				【検証例】地震層せん断力(一次設計用) Q_{i1} の計算方法について	1672
				地震力の地震層せん断力係数 C_i が0.2未満になっている	1671
			風・積雪	吹き抜けがある場合の積雪荷重について	2540
				壁配置がない箇所の見付面積について	1677
				$H > Z_b$ かつ $Z > Z_b$ となる場合の k_z の計算方法	1676
				風荷重の計算におけるパラペットの認識について	1675

カテゴリ		タイトル	文章番号		
『SS3』	(計算)	(風・積雪)	屋根勾配による積雪荷重の低減について	1674	
			風荷重が手計算と一致しない	1673	
	応力解析		梁をピン接合としているのに最上階の柱頭に曲げモーメントが発生する	2320	
			【検証例】部分地下形状の逆向きの水平力 P' の計算方法について	1688	
			【検証例】水平力分担 セットバックした柱の Q_c 、セットバックした壁の Q_w の計算方法について	1687	
			【検証例】折れ曲がるフレームの曲げモーメントの釣り合いの計算方法について	1686	
			相持ち梁の端部の曲げモーメントが0(ゼロ)となる	1685	
			地震時における土圧による水平力について	1684	
			柱脚に回転バネを入力したのに、柱脚の曲げモーメントが0(ゼロ)となる	1683	
			100番柱(ダミー柱)の有無で応力が異なる	1682	
			S造、CFT造の仕口パネルの形状認識について	1681	
			部分地下の地盤に伝わるせん断力(軸力の比)の計算方法	1680	
			ブレースが取り付く支点の支点反力について	1679	
			柱と梁の構造種別が異なる場合の仕口パネル変形の考慮について	1678	
		ルート判定		山形架構の建物高さについて	2610
				ルート判定用データのスパンについて	2527
			剛床仮定の解除で「偏心率、剛性率、層間変形角に考慮しない」と指定したブレースの扱いについて	2413	
			弾塑性解析時の剛性率、偏心率について	2406	
			柱はり耐力比のウェブの考慮について(1次設計時)	2316	
			柱はり耐力比の検討における柱耐力とはり耐力の計算	2282	
			偏心率計算時のねじり剛性 KR の計算方法	2244	
			剛心の計算方法について	2243	
			外部袖壁の壁量について	2230	
			剛床仮定の解除を指定したが重心位置がほとんど変わらない	1698	
			CFT柱を用いた場合の柱量(A_c)について	1697	
			A_w 、 A_w' に算入する壁の条件について	1696	
			柱はり耐力比の検討における最上階の取り扱いについて	1695	
			「変位量」の水平変位と「剛性率・層間変形角」の層間変位が異なる	1694	
			剛心位置が建物の外に出てしまう	1693	
			壁量柱量の α の計算方法	1692	
			スリットを設けた壁の壁量の計算について	1691	
			開口がある場合の A_w の計算について	1690	

カテゴリ		タイトル	文章番号	
『SS3』	(計算)	(ルート判定)	冷間成形角形鋼管で、柱の耐力計算に用いる軸力比 n の存在軸力	1689
			フレーム外雑壁が偏心率、剛性率に考慮されない	1551
			「剛性率・層間変形角」の層間変形角と「水平力分担」の層間変形角の値が異なる	1549
	断面算定	S梁の仕口部のZの計算について	3136	
		S梁の組合せ応力度の検討式について	3094	
		S梁の断面係数Zが手計算と一致しない	3090	
		開口補強の計算における開口部応力が手計算と異なる	3077	
		S造露出柱脚で、 $c1$ 、 $e1$ 、 $e2$ の結果が“----”となる	2872	
		【検証例】仕口部の保有耐力接合の計算について	2617	
		【検証例】継手の保有耐力接合の計算について	2616	
		【検証例】開口補強筋の計算について	2614	
		【検証例】S梁の継手位置のZの計算について	2613	
		【検証例】筋かい β による応力割増の計算について	2612	
		長期荷重時に正負最大曲げモーメントを受ける部分の引張鉄筋断面積について	2601	
		引張側アンカーボルト本数が“0(ゼロ)”の場合の計算について	2538	
		付着の検討で降伏強度 σ_y の値が合わない	2336	
		高強度せん断補強筋で対応表にない径を選択した場合の扱いについて	2337	
		満足しているのにWARNING No.555が出力される	2311	
		継手部の A_w が0.0となっている	2312	
		地震時の応力割増しが考慮されていない	2313	
		円柱の場合に長柱による応力割増率が手計算と合わない	2297	
		節点の上下移動を指定した接合部の形状について	2304	
		S造柱における一軸曲げと二軸曲げとの違いについて	2283	
		寄筋を指定した場合の設計 a_t について	2266	
		座屈長さ係数の計算内容について	2242	
		幅厚比の検討でカタログと値と異なる	2241	
		アンカーボルトの径を断面積で入力(負値入力)した場合の径	2211	
		【検証例】RC接合部断面算定(D_s 算定時応力を用いる) M_b1 、 T_u 、 Q_{cu} の計算方法について	2184	
		【検証例】RC柱断面算定 二軸曲げを考慮した許容曲げ応力判定結果の計算方法について	2183	
		【検証例】RC梁断面算定 短期時のせん断スパン比による割増し係数 α Sの計算方法について	2182	
		【検証例】RC梁断面算定 2段配筋とした場合の鉄筋重心位置 d_t の計算方法について	2181	
		【検証例】RC柱断面算定 方向別に材料強度が異なる場合の設計 a_t の計算方法について	2177	

カテゴリ			タイトル	文章番号
『SS3』	(計算)	(断面算定)	【検証例】S柱断面算定 H形鋼の断面係数Zの計算方法について	2176
			【検証例】S梁断面算定 横補剛の計算方法について	2174
			【検証例】S梁断面算定 仕口のfb(すみ肉溶接)の計算方法について	2173
			ヤング係数比の $60 < F_c \leq 100$ について	2209
			【検証例】1/4位置の曲げモーメントの算定方法について	2172
			【検証例】SRC柱断面算定 柱鉄骨部分のせん断負担割合 sM/M の計算について	2171
			【検証例】SRC柱断面算定 RC部分の設計用せん断力算定用曲げモーメント $rMud$ の算出方法について	2170
			【検証例】SRC断面算定 鉄骨部分のせん断負担割合 sM/M の計算について	2169
			【検証例】SRC梁断面算定 RC部分の釣合軸力 rNb の計算について	2168
			耐震壁の断面算定でスパン長が構造スパンと異なる	2157
			【検証例】SRC造梁の断面算定 鉄骨部分のせん断負担割合 sM/M の計算方法について	2151
			【検証例】鉄骨部分の短期許容曲げモーメント $sM短$ の計算について	2147
			節点変位と大梁の最大たわみの検討におけるたわみ量が異なる	1984
			S部材の部材ランクについて	1969
			【検証例】S梁の断面算定のZの算出方法について	1922
			【検証例】大梁の最大たわみ δ の算出方法について	1912
			【検証例】露出柱脚の回転バネ定数KBSの算出方法について	1909
			【検証例】RC梁断面算定の設計用せん断力QDの算出方法について	1907
			【検証例】S造柱脚の応力割増率 γ の算出方法について	1905
			【検証例】RC造梁の短期許容曲げモーメントMAの算出方法について	1903
			【検証例】S造露出柱脚 コンクリート破壊防止、せん断破壊防止の検討の算出方法について	1901
			【検証例】S柱断面算定におけるfb、fwの算出方法について	1900
			横補剛を直接入力した場合の小梁の認識について	1888
			SRCの鉄骨選定で指定した鉄骨断面より小さい断面が選定される	1883
			S造鋼材選定で選定された結果が出力されない	1878
			断面が小さい部材の断面算定結果が出力されない	1867
			ルート1-2におけるS造梁の横補剛の検討について	1866
			ルート1-2におけるS造梁の幅厚比の検討について	1864
			大梁の最大たわみの検討において最下層の梁が検討されない	1828
			耐震壁の断面算定結果に出力されるQEが「部材応力図」と異なる	1827
			柱の主筋断面積が手計算と一致しない	1826
			アンカーボルト検討式を“鋼管構造設計施工指針”とした場合の許容応力度の検討について	1824

カテゴリ			タイトル	文章番号
『SS3』	(計算)	(断面算定)	引張側アンカーボルト本数をゼロとした場合の柱脚バネ定数の計算について	1823
			壁筋で鉄筋種別が異なる場合について	1822
			ルート1-2におけるS造柱脚の地震時応力の割増しについて	1821
			断面算定の中央の応力が、応力図の中央の値と異なる	1815
			SRC梁の継手位置の長期せん断力について	1813
			STKR材を使用した場合の柱脚部の断面算定位置の応力について	1811
			SRC梁のsM短が手計算と異なる	1810
			基礎梁の追加応力を直接入力すると、断面算定位置における地震時の曲げモーメントが手計算と異なる	1808
			柱脚がバネ接合時の座屈長さ係数について	1806
			RC造梁のMAが手計算と異なる	1805
			【検証例】SRC柱断面算定 十字形鉄骨断面の断面係数sZの計算方法について	1794
			耐震壁の断面算定でPsを縦筋で算定している	1791
			SRC柱で柱脚をRCとしたときの断面算定について	1790
			二軸曲げを考慮した鋼管(丸鋼)の短期 σ_b/f_b について	1732
			梁の各断面算定位置におけるMLの計算方法	1729
			柱の主筋を断面積入力した場合の a_g の計算方法	1724
			梁端部の断面算定に中央部の配筋が採用されている	1723
			端部と中央部で鋼材種別が異なる場合の横補剛の検討について	1722
			2段筋とした場合の鉄筋重心位置の計算方法	1721
			端部と中央部で鋼材種別が異なる場合の添板の鋼材種別について	1720
			片持ち小梁は横補剛材として自動認識される？	1718
			SRC造の建物に高強度せん断補強筋を入力した場合の取り扱い	1717
			S梁の断面算定において、端部・中央部でZが同じ値となる	1716
			鉄骨のZがカタログの値と一致しない	1714
			ハンチ端の断面算定について	1708
			内法が指定した値にならない	1706
			QAを計算する際のdtについて	1705
			柱脚の設計におけるブレースの負担軸力の考慮について	1703
			一本部材の指定をした部材の中間に部材が取り付く場合の横補剛間隔の認識について	1630
			仕口部溶接継目の式について	1563
			S梁の組合せ応力度の検討式について	1559
			剛域端が梁・柱面よりも節点側にあるときの応力採用位置	1556

カテゴリ		タイトル		文章番号
『SS3』	計算	接合部	RC接合部の検討における部材の寄りについて	2318
			接合部の検討における梁ハンチの考慮について	1929
			Ds算定時応力を用いた接合部終局強度設計のMb1について	1927
			RC接合部断面算定における軸振れのあるときのTu、Mb1、Qcuの算出方法について	1833
			終局強度を用いたRC接合部断面算定における Tu、Mb1、Qcuの算出方法について	1832
			Ds算定時応力を用いたSRC接合部のjMDの計算方法	1831
			柱崩壊となる場合のTuの計算方法について	1830
			柱崩壊となるRC接合部の有効せいDjについて	1829
		保有水平耐力	梁にヒンジが生じない	2652
			保有水平耐力計算での地盤に伝わる水平力について(部分地下)	2637
			せん断設計結果が部材種別に反映されていない	2608
			重心の層間変形角と最大の層間変形角について	2567
			ひび割れの判定における二軸曲げの考慮について	2529
			ヒンジ発生後にせん断破壊になる	2434
			増分解析時の応力計算用特殊荷重の扱いについて	2375
			atdの値が“----”と出力される	2310
			保有水平耐力比較表に土圧は含まれますか	2315
	柱梁パネル耐力比のウェブの考慮について(崩壊形判定)		2317	
	耐震壁の曲げ降伏について		2206	
	【検証例】保有水平耐力計算 未崩壊部材の余裕度による破壊モード判定の計算方法について		2186	
	【検証例】保有水平耐力計算 重心位置の層間変位の計算方法について		2185	
	Q-δ曲線が乱れる		2133	
	S梁Mu算定におけるカバープレートの考慮について		1919	
	「7.4せん断設計-必要Pw再計算」のQDの算出方法について		1906	
	耐震壁のM/QDの算出方法について	1904		
	「必要Pw再計算」や「終局せん断耐力の再計算」に出力されるQMについて	1902		
	「破壊形式」と「部材種別フレーム図」で崩壊形が異なる	1891		
	幅厚比が手計算と一致しない	1889		
	冷間角形鋼管で局部崩壊メカニズムと判定された場合の検討方法について(告示第594号第4第3号口)	1884		
	増分解析において浮き上がりが考慮されない	1882		
	耐震壁のPwhmax(Psmax)が変更されない	1881		
	増分解析中に浮き上がり(または圧壊)が生じた場合の処理について	1879		

カテゴリ	タイトル	文章番号	
『SS3』	(計算)	(保有水平耐力)	
		「部材群の種別」に表示される“*”について	1877
		Ds算定時の曲げ塑性率の算出方法について	1876
		[8.8基礎自重]で入力した基礎自重は、保有水平耐力計算時に考慮されるか？	1873
		柱の終局耐力計算時の外部袖壁の考慮について	1872
		横補剛の検討でNGとなる部材が存在するのに部材群種別がDとならない	1870
		スーパーハイベースを使用した場合の保有耐力接合の判定について	1868
		高強度せん断補強筋の材料強度	1865
		一本部材の指定をした場合の解析について	1859
		袖壁付き柱のQuについて	1858
		連スパン耐震壁の κ について	1857
		CFT柱のパネル耐力Mppilについて	1851
		連スパン耐震壁の終局せん断耐力Quについて	1850
		耐震壁の曲げ降伏時の剛性低下について	1848
		セットバックにより台形となった壁のQuについて	1846
		セットバックにより台形となった壁の κ について	1843
		外力の作用角度を入力した場合の層間変形角について	1842
		塑性率(部材)について	1840
		基礎の圧壊で解析が止まらない	1836
		浮き上がりが発生したステップで解析を終了させたい	1834
		必要保有水平耐力	
		横補剛を満足している方向の部材群種別がDとなる	3039
		多剛床を指定した場合の保有水平耐力と必要保有水平耐力について	2604
		端部と中央部で鉄骨種別が異なる場合の部材種別について	2457
		Qu/Qunが各階で異なる	2367
		RC柱部材種別判定時の h_o/D の値が手計算と一致しない	2156
		「必要Pw再計算」や「終局せん断耐力の再計算」に出力される耐震壁のM/QDについて	1897
部材種別パラメータ $2M/QD$ の算出方法について	1892		
RC柱部材種別判定時の h_o の採用について	1887		
せん断設計			
柱梁のQu算定式に靱性指針式を指定すると Q_u/Q_m が0.00*となる	2395		
【検証例】せん断設計 梁のQM、M/Qdの計算方法について	2187		
$(Q_u - Q_o)/QM$ の値について	2155		
「必要Pw再計算」と「 Q_u/Q_m 」の判定が異なる	1896		
部材耐力計算			
【検証例】雑壁付きRC梁終局せん断耐力Quの計算について	2630		

カテゴリ		タイトル	文章番号	
『SS3』	(計算)	(部材耐力計算)	【検証例】袖壁付きRC柱終局せん断耐力 Q_u の計算について	2627
		【検証例】雑壁付きRC梁終局曲げ耐力 M_u の計算について	2625	
		【検証例】袖壁付きRC柱終局曲げ耐力の計算について	2622	
		a/D による曲げ降伏時の剛性低下率 α_y の計算について	2650	
		【検証例】露出柱脚の終局せん断耐力の計算について	2621	
		【検証例】露出柱脚の終局曲げ耐力の計算について	2620	
		ハンチ梁の部材耐力計算で採用する断面について	2357	
		柱と壁の F_c が異なる場合の耐力計算について	2314	
		柱はりパネル耐力比の検討における耐力の計算について	2321	
		ハンチ部材の端部 M_u を求める際の断面について	1921	
		S造柱・梁 M_u 算定時のスカラップの考慮について	1916	
		S梁 M_u が手計算と異なる	1911	
		その他	設計ルート判定用の層間変形角と剛性率計算用の層間変形角について	2566
			CFT造の参考文献について	2470
	『SS2』と『SS3』の解析結果の違いについて		1934	
	異なる梁せいが混在する場合の梁天から部材心までの距離の算出方法について		1932	
	ウルボンの新評定への対応について		1926	
	架構の不静定次数が低い建築物の検討について(告示第594号第2第3号口)		1924	

カテゴリ		タイトル	文章番号		
『SS3』	出力	準備計算	雑壁の長さを確認したい	2492	
			壁が取り付いていない梁で ϕ_w が1.01となる	2431	
			地震力が手計算と一致しない	2319	
			床の協力幅を確認したい	2294	
			S造柱脚の剛域長が、想定した値とならない	2290	
			柱軸変形用断面積のとりが部材剛性表に反映されない	2288	
			べた基礎とした際の接地圧を確認したい	1956	
			水平外力を直接入力したが、地震力に入力値が出力されない	1955	
			地震用重量の合計値と、節点毎の地震用重量の合計値が異なる	1954	
			隅切り部分の床に取り付く梁の ϕ_{II} について	1951	
			特殊荷重・片持ち床・片持ち梁を入力していないのに、結果出力「地震用重量」の“特殊荷重”に数値が出力される	1950	
			壁を配置していないのに、 ϕ_w が1.0以上となる	1948	
			耐震壁のせん断耐力低減率の確認方法	1945	
			節点の上下移動をした場合、梁 Q_0 と節点重量が異なる	1944	
			一次固有周期 T を直接入力したが反映されない	1942	
			梁自重が負値になる	1939	
			地震力の $Q_{i1} > \text{水平力分担の} \Sigma Q$	1938	
			応力結果	振りモーメントの確認方法について	2574
				床ブレースの軸力が出力されない	2281
				床ブレースの軸力が“0(ゼロ)”になる	2280
	連層耐震壁の最上層で節点の上下移動を指定すると想定する応力状態にならない	2264			
	梁の水平面内応力の確認方法について	1594			
	積雪荷重時の応力値がすべて0(ゼロ)になる	1593			
	節点周りの応力が釣り合わない	1592			
	ブレース架構の応力割増しがされていない	1591			
	部材応力図に支点反力が出力されない	1590			
	特殊荷重タイプ“-4”で入力した場合の応力について	1589			
	重心位置が異なる	1587			
	ブレース構造で概算軸力と長期軸力の値が異なる	1582			
	多スパンに互る梁の応力値が2部材のように出力される	1581			
	水平変位の値が各層で1つしか出力されない	1579			
	水平力・重心位置の ΣP_x と水平力分担の ΣQ が異なる	1576			

カテゴリ			タイトル	文章番号
『SS3』	(出力)	(応力結果)	腰折れありのセットバック柱のQについて	1574
			RC梁断面算定に出力される αS の計算方法について	1569
			硬質地盤上の基礎における地中梁の応力について	1568
			梁の結合状態をピン接合にしているのに応力が発生する	1566
			梁の軸力を確認したい	1562
			仕口パネルが考慮されない	1561
			仕口パネル応力の確認方法について	1555
			床ブレースの軸力を確認したい	1553
		応力まとめ	剛節架構の応力割増率が“1.000”となる	2563
			地震力の値と水平力分担の ΣQ が大きく異なる	2437
			筋かい架構の応力割増し率について	2303
			多雪区域とした場合の各出力項目における柱軸力について	1620
			「柱はり耐力比」が出力されない	1619
			ルート自動判定について	1618
			S造ルート1のCoについて	1616
			柱はり耐力比に出力される梁Mpが手計算と異なる	1615
			偏心率や剛性率の出力に「雑壁を考慮した場合」の結果が出力されない	1614
	「浮き上がりのチェック」が出力されない		1613	
	鉛直荷重時で基礎梁の設計応力が釣り合わない		1612	
	耐力壁水平力負担が50%を超える場合の応力割増率の確認方法		1610	
	スパン長が6メートル以上なのにルート判別表でルート1-1が○となる		1609	
	冷間成形角形鋼管の地震時応力割増しの確認方法		1607	
	多剛床を指定した建物の「偏心率」、「剛性率・層間変形角」を剛床ごとに出力したい		1606	
	設計応力図で直交加力時の応力図が出力される		1605	
	延べ床面積について		1603	
	「柱せん断力と負荷重量の割合(Q_c/C_iW)」におけるWについて		1599	
	多剛床を指定した建物のルート判定について		1598	
	偏心距離の値が手計算と一致しない		1597	
	水平力分担で Q_c の値が異なる	1596		
	地震力の値と水平力分担の ΣQ が異なる	1595		
	水平力分担が異なる	1462		
	断面算定	「WARNING No.5 設計用軸力が適用範囲を超えています。」	3067	

カテゴリ		タイトル	文章番号	
〔SS3〕	(出力)	(断面算定)	S梁継手の計算結果が出力されない	2580
		ブレースの断面算定結果に出力される短期の軸力が設計応力図と異なる	2573	
		柱脚の終局時の検討結果の出力箇所について(構造計算書出力)	2344	
		主筋[SD###]と出力される	2417	
		コンクリート破壊、ベースプレート破断の検討が出力されない	2424	
		付着の検討で出力されない梁がある	2425	
		鉄骨の断面算定結果出力において“C”の値が表示されない	2393	
		SRC柱の断面算定結果に、sM/Mが出力されない	1761	
		両端ピンの梁における座屈区間端部の曲げモーメントによる修正係数Cについて	1760	
		スーパーハイベースを使用した場合に入力したFcが反映されない	1758	
		SRC柱断面算定でsM/Mの値が手計算と異なる	1757	
		断面算定位置が変わらない	1756	
		柱に横補剛を入力しても座屈長さが変わらない	1754	
		横補剛の検討結果が出力されない	1753	
		「WARNING No.577 短期の設計軸力が限界軸力を超えている」が出力されない	1752	
		RC造、SRC造大梁のたわみの検討結果が表示されない	1748	
		継手の設計で、継手Mu、Quの後に出力される記号の意味について	1746	
		鉄筋重心位置dtが自動計算した値で出力されない	1743	
		柱の断面算定で中央部を出力する条件について	1740	
		柱脚の終局時の検討結果を出力する方法	1738	
		出力形式“代表”で出力する部材について	1736	
		Q-TYPが出力されない	1733	
		配筋リストが出力されない	1727	
		入力atと設計atが異なる	1625	
		結合状態の異なる柱で座屈長さが同じ値になる	1623	
		耐震壁・鉄骨ブレース・柱脚の断面算定結果を代表部材とした	1572	
		断面算定結果が出力されない	1564	
		「※コンクリート断面を変更している。」について	1560	
		混合構造でRC部材として出力されない	1557	
		「※鉄骨断面を変更している。」について	1550	
		SRC柱の断面算定結果で、鉄骨部材の許容曲げモーメントが0(ゼロ)になる	1546	
		RC梁を選定計算した場合でケースに出力されるPIについて	1545	

カテゴリ		タイトル	文章番号	
『SS3』	(出力)	(断面算定)	鋼管の断面算定出力で、直交方向の応力度の検討が出力されない	1538
			柱頭・柱脚ピン接合時の柱座屈長さ	1536
		接合部	RC接合部の断面算定で短期許容応力度設計の結果が出力されない	2484
			RC接合部の Q_{cu} について	1707
			直交梁の有無による係数 ϕ について	1702
			D_s 算定時応力を用いた接合部終局時の検定の崩壊形が“－”で出力される	1701
			D_s 算定時応力を用いた接合部終局時の検定結果が出力されない	1700
			接合部の断面算定に出力される“X1”“X2”“Y1”“Y2”について	1699
		保有水平耐力計算	「WARNING No.6 終局時軸力が適用範囲を超えています。」	3068
			【検証例】 $\sum CM_u / \sum GM_u$ の計算について	2655
			同じ断面の柱なのに部材終局強度の軸耐力が異なる	2631
			結果出力「構造特性係数」と「必要保有水平耐力比較表」の Q_u が異なる	2594
			CSVファイルの保有水平耐力計算の応力値について	2588
			せん断設計の「 Q_u / Q_m 」で値が表示されない箇所がある	2584
			終局せん断耐力の再計算に出力される「雑壁付」の梁について	2438
			「必要保有水平耐力比較表」の“※ Q_u / Q_{un} における(*1: $Q_u / Q_{un} \geq 1.1$ で判定)”について	2415
			節点ごとの柱耐力・梁耐力・パネル耐力の確認方法	2379
			保有水平耐力計算時の梁の水平面内応力の確認方法について	2390
			「必要 P_w の結果一覧」で必要 P_s が出力されない耐震壁がある	2351
			多剛床を指定した建物の「 Q 」、「 δ 」を剛床ごとに確認したい	2323
			指定した層間変形角よりも手前で解析が終了する	2324
			「必要保有水平耐力比較表」で $Q_u / Q_{un} > 1.0$ にもかかわらず、NGと判定される	2207
			支点の水平反力がフレームごとで同じ数値になっている	2163
			未崩壊部材の余裕度による破壊モード判定における曲げ余裕度 αM 、せん断余裕度 αQ の値を確認したい	1995
			柱梁耐力比の崩壊形を確認したい	1943
			破壊形式で“浮上り”と表示されない	1803
			RC部材のせん断破壊防止の検討について(告示第594号第4第3号ハ)	1802
			耐震壁のせん断耐力式における M / QD の確認方法	1801
			種別が出力されない部材がある	1800
			メカニズムの判定結果について	1799
			「必要 P_w の結果一覧」で必要 P_w が出力されない	1798
			せん断破壊していないのに、必要 P_w 再計算で“要補強”と出力される	1795

カテゴリ		タイトル	文章番号	
『SS3』	(出力)	(保有水平耐力計算)	CFT柱のQuが出力されない	1793
		クライテリアのチェックに出力される“C.K”の意味	1792	
		直交方向フレームの保有水平耐力結果を出力したい	1755	
		STKRを使用した場合の保有耐力時の柱梁耐力比について	1751	
		柱の部材種別パラメータでPtが出力されない	1747	
		部材群種別でA→Dが出力される	1742	
		「必要Pw再計算」で“耐力式に塑性理論式を採用している”と出力される	1734	
		支点反力に出力される“RY”、“RM”、“RX”について	1731	
		終局耐力表に出力されるQu(B)について	1726	
		$Q < Q_u$ の部材が、部材種別パラメータでせん断破壊となる	1719	
		柱の部材種別で全てのパラメータがFAIにもかかわらずFCとなる	1715	
		$\sum CMu / \sum GMu$ の出力の“*”について	1709	
		必要保有水平耐力比較表の層間変位またはQuが0(ゼロ)で出力される	654	
		その他	「1.4 断面リスト」に出力される断面と登録・配置した断面が異なる	2679
		基礎反力をCSVファイルに出力したい	2581	
	CSVに出力される部材の位置を確認したい	2568		
	既製品(メーカー製)柱脚の検討ソフトで利用するCSVファイルについて	2366		
	土圧・水圧の梁負担分を確認したい	2117		
	積雪荷重の重量を確認したい	1994		
	1次設計時の支点の水平反力を確認したい	1993		
	許容付着応力度 f_a と f_b の違いについて	1966		
	ヘッダーに“計算途中”と出力される	1959		
	終了時メッセージが出力されない	1953		
	構造計算書の日時が更新されない	1930		

カテゴリ	タイトル	文章番号
『SS3』	ERROR	メッセージ
	「ERROR No.209 非充腹材を使用している。」、「ERROR No.51 非充腹材を使用しているSRC部材がある。」について	3044
	ERROR:No.715 Fc(コンクリートの設計基準強度)が適用範囲を越えている	2543
	柱脚の自動設計での「データが不正です。」について	2516
	ERROR:No.1 梁に配筋が登録されていません。または、断面性能が直接入力されています	2341
	ERROR:No.19 ブレースの異種部材No.###が配置されている	2328
	ERROR:No.724 Fc(コンクリートの設計基準強度)が適用範囲を下回っている	2295
	ERROR:No.21 梁の未登録部材No.900が配置されている	2291
	ERROR:No.22 梁の未登録部材No.800が配置されている	2292
	ERROR No.704 部分地下になっている	2017
	ERROR No.710 梁柱の振り剛性を考慮した応力解析をしている	2016
	ERROR No.711 多剛床として地震力計算および応力解析をしている	2015
	ERROR No.712 指定された設計ルートを満足していない	2014
	ERROR No.733 柱脚で、設計用応力度が許容応力度を超えている部材がある	2013
	ERROR No.737 ルート3のせん断設計において平成19年国土交通省告示第594号第4を満足しないRC部材がある	2012
	ERROR No.740 CFT柱を配置している	2010
	ERROR No.741 層間変形角は、各フレームの平均を採用している	2009
	ERROR No.102 この製品は適用できません	2008
	ERROR No.743 一次設計で弾塑性解析を行っている	2007
	ERROR No.179 不安定架構のため、計算できません	2000
	水平外力を直接入力するとエラーが出力される	1554
	断面性能を直接入力した部材を用いて保有水平耐力計算をしたい	1552
	BF1の計算結果データに対象となる基礎梁データがありません	1548
	ERROR No.2 ベースプレートの入力値が不正です	1547
	ERROR No.3 多スパンに互る床の形状No.が同じでない	1544
	ERROR No.5 部材登録データNo.###で、鉄骨ブレースの断面性能が登録されていない	1543
	ERROR No.7 多スパンに互る床の中に柱が配置されている	1542
	ERROR No.8 梁の内法長さが0以下になっている	1541
	ERROR No.9 柱の内法長さが0以下になっている	1540
	ERROR No.16 一本の柱でセットバックの組合せが認識できない	1539
	ERROR No.21 増分解析を不正終了します(###Step)	1537
	ERROR No.31 片持ち梁の未登録部材が配置されている	1535
	ERROR No.50 片側セットバックによって平行移動する梁の取り付けが不正です	1534

カテゴリ			タイトル	文章番号	
『SS3』	(ERROR)	(メッセージ)	ERROR No.92 梁の部材長が0になっている	1533	
			ERROR No.93 壁長さが0になっている	1532	
			ERROR No.103 コンクリートFcが適用範囲外です。製品の仕様を確認してください	1531	
			ERROR No.230 配筋されていないため計算できません	1530	
			ERROR No.121 梁・剛域の左端と右端の和が部材長を越えている	1529	
			ERROR No.233 柱QDが計算されていません	1528	
			ERROR No.234 上下階の柱高さの和の1/2が梁せい以下となっているため計算できません	1527	
			ERROR No.122 柱・剛域の柱脚と柱頭の和が部材長を越えている	1526	
			ERROR No.176 計算上分割した梁の全域が剛域になっている	1525	
			ERROR No.177 計算上分割した柱の全域が剛域になっている	1524	
			ERROR No.178 柱軸変形用の剛域が柱の全域に互っている	1523	
			ERROR No.191 層間変形角が制限値を超えている為、計算ルートが自動判定できません	1522	
			ERROR No.192 柱にSTKR材を用いていますが、柱はり耐力比 ≥ 1.5 を満足していません	1521	
			ERROR No.206 円柱で全主筋本数が8本以上入力していない	1520	
			ERROR No.213 継手位置が部材長を超えて指定している	1519	
			ERROR No.701 混合構造となっている	1518	
			その他	荷重計算でエラーが発生する	1584
				マウス入力の起動時にエラーが発生する	1580
	[12.4 柱符号と配筋]を選ぶとエラーが発生する	1578			
	Windows7で解析を行うと「ERROR HAPPENED!! Error***.EXE」のエラーが発生する	1575			
	ERROR HAPPENED!! Error***.EXE	1565			

カテゴリ	タイトル	文章番号	
『SS3』	WARNING	—	
		保有耐力接合を指定しているのに「WARNING No.10 継手部で全強接合を満足しません。」が出力される	2660
		WARNING No.477 面内雑壁のn値が0になっている	2651
		【検証例】剛性率の δ_s の計算について	2611
		WARNING No.6 支点耐力が1箇所も入力されていない	2575
		WARNING No.334 耐震壁周りにダミー部材が配置されている	2585
		WARNING No.552 内法長さが認識できない為、せん断設計ができません	2565
		「WARNING 378 積雪荷重を考慮しているが、積雪荷重が載る床が1つも配置されていない。」	2528
		WARNING No.450 耐震壁周りの梁の断面積が21474836.47cm ² を超えている	2499
		「WARNING No.5 スラブ筋が1部材も入力されていない。」	2472
		WARNING No.11 標準ディテールにないため継手断面を選定しました	2461
		「WARNING No.683 接合部の形状が指定されていないので自動判定を採用します。」	2473
		「WARNING No.495 応力用特殊荷重登録No. の指定が間違っている。」	2411
		WARNING No.810 メカニズム時の軸圧縮力が制限値を超えているCFT柱がある	2374
		接合部パネルの補強について	2349
		WARNING NO.12 継手位置がハンチ内にあります	2285
		幅厚比に対するメッセージ(WARNING No.602とNo.787およびNo.788)の違いについて	2276
		「WARNING No.11 長期応力および応力計算用特殊荷重(地震力)で既にひび割れているのでBi-Linearにモデル化します。」について	2229
		「WARNING No.496 応力用特殊荷重データのパラメータが不正です。」	2141
		WARNING No.360 ハンチ端の幅、せいが中央の幅、せいよりも小さい	2123
		WARNING No.553 設計軸力が許容軸力を超えている	2038
		WARNING No.563 短期設計用曲げモーメントが許容曲げモーメントを超えている	2035
		WARNING No.662 1/4位置または3/4位置において残りの鉄筋の引張応力度が許容応力度を超えている	2030
		WARNING No.807 $\beta_u \leq 0.7$ でRC造FD柱がある	2006
		「WARNING No.604 たわみがスパンの1/300を超えている」が表示されない	1990
		WARNING No.494 応力用特殊荷重の指定作用部材と荷重タイプが一致しない	1988
		WARNING No.782 入力Tから算出したRtが内部計算したTから求めたRtの3/4を下回った。内部計算値を使用	1985
		WARNING No.791 軸方向応力度がコンクリートの設計基準強度の0.35倍を超えているRC部材(柱)がある	1983
		WARNING No.798 溶接作業性に劣り降伏後の変形性能が保証されないSN400Aを使用した	1979
		WARNING No.805 耐震壁で τ / F_c が0.25を超えている部材がある	1978
		WARNING No.806 柱の軸方向力が引張耐力の0.75又は圧縮耐力の0.55を超えている	1973
		WARNING No.812 ルート3の柱脚の検討で設計フローの条件を満たしていません	1971
		横補剛を満足しているのにWARNING No.605 が出力される	1967

カテゴリ	タイトル	文章番号
(『SS3』)	(WARNING)	(一)
	S造ルート1-2で「WARNING No.6 保有耐力接合を満足していません。(Mu、 α Mpc)」のメッセージが出力される	1965
	WARNING No.605 横補剛間隔が構造計算指針(センター指針)の制限値を満たしていない(等間隔で横補剛を設ける方法)	1958
	WARNING No.605 横補剛間隔が構造計算指針(センター指針)の制限値を満たしていない(端部に横補剛を設ける方法)	1935
	「WARNING No.341 開口のデータが不正である。」について	1931
	WARNING No.3 セン断応力が許容摩擦力を超えています。せん断力をアンカーボルトに負担させました	1928
	WARNING No.3 鉄骨ブレースの有効断面積が入力されていないため、引張応力度比の計算はできません	1925
	WARNING No.473、485、486 Dw'が計算できない	1920
	耐震壁の断面算定のPsに対するメッセージについて	1918
	WARNING No.26 $\beta u \leq 0.7$ でRC造FD柱があります	1917
	WARNING No.372 節点のない箇所に、節点補正重量を入力した	1915
	WARNING No.484 標準柱にS部材を指定した	1914
	WARNING No.451 耐震壁周りの梁の断面2次モーメントが $32768 \times 10^9 \text{cm}^4$ を超えている	1913
	WARNING No.3 Y(X)方向の柱脚耐力が存在しないため、X(Y)方向と同じ値とします	1910
	WARNING No.5 アンカーボルトの応力が許容値を超えています(TとQのベクトル)	1899
	WARNING No.7 メカニズム時の応力が柱脚終局せん断耐力を超えています。(Qu、Q)	1898
	WARNING No.21 S梁断面算定結果がないため、横補剛間隔のチェックが出来ません	1895
	WARNING No.103 保有耐力接合を満足していません。(Mu、 α Mpc) (ベースパック)	1893
	WARNING No.109 Qu算定の適用範囲を超えています。 $\sum Si \cdot awy \cdot r \sigma wy \leq rat \cdot r \sigma y \cdot rdo$	1885
	WARNING No.110 Qu算定の適用範囲を超えています。 $2.7\sqrt{(Pw \cdot \sigma wy) \cdot be \cdot rJ \cdot le} \leq rat \cdot r \sigma y \cdot rdo$	1875
	WARNING No.127 本工法の適用軸力を超えています。(N < -0.2 × 柱降伏引張軸力)	1871
	WARNING No.343 剛性に評価されない壁(12cm未満)が配置されている	1862
	WARNING No.351 床面が正しく認識できない。水平面として床荷重を計算します	1861
	WARNING No.403 S造のルート1指定で、Co ≥ 0.3 となっていない	1860
	WARNING No.439 梁・剛域が部材長の1/2を超えている	1856
	WARNING No.440 柱・剛域が部材長の1/2を超えている	1855
	WARNING No.489 著しい不均衡が生じています	1854
	WARNING No.661 付着長さが必要付着長さに部材有効せいを加えた長さを下回っている(通し配筋)	1820
	WARNING No.661 付着長さが必要付着長さに部材有効せいを加えた長さを下回っている(端部・中央)	1809
	WARNING No.661 付着長さが必要付着長さに部材有効せいを加えた長さを下回っている(1/4・3/4)	1807
	WARNING No.751 塔状建物(H/B > 4)となっている	1749
	WARNING No.556 Ptが2.00%を超えている	1730
	WARNING No.657 接合部において軸振れが生じている	1728

カテゴリ		タイトル	文章番号	
〔SS3〕	(WARNING)	(一)	WARNING No.655 必要ウェブ厚が柱のウェブ厚を超えている	1725
			WARNING No.823 採用している設計ルートで、壁量・柱量の確認におけるAwが0となっている	1617
			「WARNING No.663 延長長さが必要延長長さを下回っている」 「WARNING No.664 付着応力度が許容付着応力度を超えている」	1611
			RC梁で「WARNING No.555 コンクリート全断面積に対する主筋全断面積の割合が、0.8%未満である」が出力される	1558
			「WARNING No.35 保有水平耐力時の層間変位がDs算定時の層間変位を超えています」について	1464

カテゴリ		タイトル	文章番号	
『SS3』	作図	—	床が抜けている箇所がある	2593
			作図と3D作図に表示される節点変位の単位について	2539
			床ブレースの配置状況の確認方法について	2517
			フェイス位置での長期曲げモーメントの値を確認したい	2414
			作図で地震時の応力値が“0”と表示される	2306
			ヒンジ発生位置が指定と異なる	2269
			作図と3D作図で耐力が違う	2232
			部材の中間に回転荷重を作用させたところ、想定したM図とならない	2134
			作図の文字サイズを変更する方法	2037
			3D作図で部材ごとに結果を表示したい	2036
			M-N耐力曲線を確認したい	2034
			応力図(保有水平耐力用)の破壊形式の記号について	2033
			作図のQ- δ 曲線の数値データを印刷したい	2032
			ひび割れステップ数が-999と表示される	2031
			3D作図で断面算定の検定比が表示されない	2029
			印刷時に出力される日付やページ番号を省略したい	2028
			σ_o/F_c が出力されない	2027
			3D作図と結果出力の応力値が異なる	1964
			層せん断力-変形角曲線(Q- γ 曲線)を出力したい	1961
		構造計算書	構造計算書出力	
	断面検定に不適切な指定がされているため、出力できません			2636
	構造計算書出力の共通設定について			2603
	支点反力が表示されない			2490
	出力項目「11.6.5 柱はり接合部の検定」について			2488
	地震用重量に出力される“特殊荷重”の値について			2376
	保有水平耐力計算時のコンクリート強度について			2322
	構造計算書に出力される W_i/A の床面積の計算について			2302
	数値の重なりを解消したい(その3)			2236
	数値の重なりを解消したい(その2)			2234
	数値の重なりを解消したい(その1)			2159
	[構造計算書出力]と結果出力の「応力図」で応力値が異なる			1940
	表紙の「建築設計事務所」などを入力したい			1937

カテゴリ		タイトル	文章番号	
『SS3』	(構造計算書)	(構造計算書出力)	断面リストでH形鋼柱が“1”と出力される	1933
		構造計算書のヘッダーに大臣認定番号、性能評価番号が表示されない	1923	
		[構造計算書出力]に出力される日時について	1635	
		構造計算書の表紙に表示される“ID”について	1633	
		構造計算書出力のルート判定表について	1632	
		構造計算概要書の出力方法について	1629	
		[構造計算書出力]の応力図のスケールを変更したい	1627	
		[構造計算書]の延べ面積が変わらない	1624	
		「構造計算書出力」の断面算定出力で、全部材出力されない	1466	
		構造計算書出力でページ数が出力されない	1465	
その他	—	『SS3』のベースパック(Vシリーズ)について	3527	
		通常版と制限版の違いについて	2871	
		「機械式定着の検定」が起動しない	2626	
		解析したプログラムが一致しません	2460	
		サポートセンターに『SS3』のデータに送りたい	2447	
		このデータは、Ver.11.13.45.664で作成されたものです。プログラムバージョン(Ver.###.###)より大きいため、処理を続行できません。	2399	
		計算条件形式部エラー(91)について	2338	
		テキストブラウザの検索履歴を消去したい	2298	
		解析と結果出力が指定できない	2300	
		メモの利用方法について	2301	
		『SS3』のチェックリストについて	1467	
		Windows Vistaの環境で[11.1支点の状態]の入力後スクロールバーの▲をクリックすると不正終了する	1852	
		『SS3』の物件データのアイコンについて	1849	
		マウス入力でのファンクションキーについて	1844	
		断面リスト編集の表を貼り付けたい	1839	
		個別で出力指定した部材が出力されない	1835	
		“読み取り専用になっています”について	1783	
		よく使う鉄骨鋼材データを保存したい	1782	
		物件データのコピーを作成したい	1781	
		登録済みの鉄骨鋼材データをコピーしたい	1780	
		解析項目を未解析にしたい	1778	
		「‘SS-3’はファイル名にふさわしくありません」について	1636	

カテゴリ			タイトル	文章番号
『SS3』	(その他)	(一)	デフォルトデータとして保存可能なデータ	1621
			剛性低下率の転送の α について	1517
			利用者証明書について	1516
			大臣認定書・性能評価書について	1515
			重力単位系で入力している『SS2』データをSI単位系に変換する方法	1470
			『SS2』のデータを『SS3』で使用方法について	1469

カテゴリ		タイトル	文章番号	
『BF1』	入力	—	『SS3』と『BF1』でリンクした軸力が異なっている	3064
			『BF1』で『SoilBase』のデータが更新されない	3062
			[杭の水平力]が削除される	3054
			終局時の検討でリンクされる軸力について	2663
			[杭頭曲げ直接入力]の入力値について	2661
			地震用重量が一致しない	2550
			施工誤差を無視したい	2506
			部分地下形状の建物で杭の水平力の算出方法について(支点バネ)	2544
			部分地下形状の建物で杭の水平力の算出方法について(軸力比)	2542
			基礎底深さが異なる基礎がある場合の入力について	2520
			支持力計算結果の支持力結果に”*”が出力される	2510
			軸振れした形状で基礎梁の偏心応力が生じない	2509
			荷重の傾斜について	2482
			45° 加力時の[杭頭曲げの直接入力]について	2467
			応力計算用特殊荷重について	2430
			ベタ基礎の断面算定で一部の床の配筋を変更したい	2422
			オフセット距離の正負について	2423
			オフセットの距離の基準について	2354
			内部摩擦角を入力したい	2308
			跳ね出し長の入力について	2195
			[杭登録-支持力計算-地盤データ-杭自重]が0になる	2109
			基礎床Noが入力できない	2108
			『BF1』のデータが自動更新されない。	2106
			『BF1』に読み込んだ『SoilBase2008』データの再生方法について	2105
			高強度せん断補強筋について	2104
			複数登録した地盤データが削除される	2103
			偏心(転倒)モーメントが0(ゼロ)と表示される	2102
			“フーチングに曲げを考慮する”が指定できない	2101
			伏図データ配置の範囲指定	2100
			杭頭変位が1cmを超えた場合の計算を行いたい	2098
			地盤反力係数(kh)算定時の定数(α)の使い分けについて	2097
			偏心、杭頭曲げによる付加軸力の確認について	2096

カテゴリ			タイトル	文章番号		
『BF1』	(入力)	(一)	解析方向別に有効となる布基礎を指定したい	2095		
			土質柱状データの作成を指定できない	2070		
			[伏図データ配置一軸力]に表示される「L'、EX+'、EX-'、EY+'、EY-'」について	2069		
			「SoilBaseのデータを採用していません」のメッセージが表示される	86		
			杭本数が入力できない	58		
			杭頭－基礎梁心の(Q・h)増分の考慮がされない	57		
			既製杭の登録について	56		
			入力したへりあきが反映されない	55		
			杭の引き抜き力の計算について	53		
			杭頭モーメント、偏心による付加軸力の考慮について	52		
			杭基礎形状が入力できない	51		
			『SS2』と『BF1』を連携使用する場合の操作手順について	50		
			水平力を負担しない杭を指定したい	47		
			杭自重算定時の排土重量の考慮方法	46		
			杭ごとに杭頭固定度を入力する方法	45		
			パンチングシャーの検討で「---」と表示され検討されない	44		
			地盤反力係数(kh)の直接入力	43		
			非対称基礎の配置方向を変更したい	40		
			[既製杭リストの登録]が指定できない	39		
			計算	—	単独使用したときの杭基礎のdtlについて	3087
					単位体積重量 γ_1 が低減されている	3085
					杭頭補強筋の算定で杭径を+200mmとしている根拠について	3063
					杭体の許容圧縮耐力Naの自動計算について	3055
直接基礎の支持力計算における支持地盤の影響範囲について	3053					
場所打杭の断面選定の必要主筋量について	2662					
部分地下を有する構造物のベタ基礎の検討について	2556					
一本杭の断面算定について	2549					
布基礎の自重について	2505					
布基礎の自重について(基礎梁の扱い)	2545					
杭先端のN値について	2532					
基礎の回転について	2466					
杭頭曲げモーメントの値と杭頭曲げによる基礎梁応力が一致しない	2435					

カテゴリ			タイトル	文章番号
『BF1』	(計算)	(一)	ベタ基礎の断面算定のLx、Lyについて	2384
			「ベタ基礎の断面算定」に出力される設計接地圧の位置について	2385
			跳ね出し部分の重量について	2386
			フープ筋を考慮した許容Qaについて	2358
			3本杭の場合の基礎断面算定における基礎幅について	2355
			基礎床グループNoを変更すると総軸力が変わる	2356
			【検証例】杭基礎断面算定の設計Md、設計Qdの計算方法について(一本杭の場合)	2252
			べた基礎の終局時検討について	2245
			杭施工誤差の考慮について	85
			保有水平耐力計算への考慮について	2188
			基礎設計用軸力について	2162
			【検証例】杭基礎断面算定の設計Md、設計Qdの計算方法について	2161
			短杭としての検討について	2115
			液状化の検討について	2099
			独立フーチング基礎の支持力計算ができない	83
			場所打ち杭の引き抜き力の計算について	81
			杭設計用軸力について	80
			偏心距離の計算方法について	79
			TB杭の接合部の設計にコンクリート強度が反映されない	78
			液状化によるkh(水平地盤反力係数)の低減値が考慮されない	77
			杭長さ径比による許容支持力の低減値について	76
			摩擦杭の支持力検討結果が表示されない	75
			quが自動計算されない	74
			シルト層の摩擦が考慮されない	73
			『SS2』で入力した基礎自重の扱いについて	72
			多層地盤の杭の応力計算について	71
			杭頭固定度を入力し計算したが応力が“0(ゼロ)”となる	70
			『SoilBase』の土質の認識について	69
			Kh(水平地盤反力係数)算定時のN値について	68
			場所打ちコンクリート杭の短期許容せん断力(Qas)について	67
場所打ちコンクリート杭の許容Qaの値について	66			
杭頭補強筋について	65			

カテゴリ		タイトル		文章番号
『BF1』	(計算)	(-)	水平地盤反力係数(kh)が0(ゼロ)になる	64
	出力	-	杭中間部の断面算定結果が出力されない	3086
			【杭の水平時応力図】に出力される値について	2634
			基礎自重を考慮していないのに σ MAXと σ の値が異なる	2551
			【支持力検討用軸力】で文字が重なる	2502
			場所打ち杭のM-N値について	2483
			【杭頭曲げモーメント(基礎梁への曲げ戻し応力)】に出力される値について	2480
			布基礎の断面算定で支点位置に出力される”(上)”について	2426
			杭中間部最大モーメントが0で出力される	2427
			支持力検討の最小が”---”と出力される	2428
			「終局時の支持力検定比」が出力されない	2250
			図心位置の基点について	2248
			長期の付加曲げが0になる	2205
			「杭長が10m以下になっています。」について	2164
			杭体Naの値が表示されない	2153
			Mo・Mmaxが“---”と出力される	2129
			杭頭接合部選定計算の設計杭径について	2112
			荷重ケース毎の接地圧検討結果の確認について	2111
			杭基礎の断面算定結果が出力されない。	2110
			エラーメッセージの確認方法	96
			曲げを考慮した接地圧が大きい	95
			先端支持が0になる	94
			支持力検定比が出力できない	93
			接合部選定結果を出力できない	92
			必要鉄筋量が“----”と出力される	91
			「曲げ応力が大きいため処理できません」	90
			σ MAXと σ の値が異なる	89
			基礎梁への曲げ戻し応力が0になっている	88
	kh、 β 、 β Lが出力されない	87		
	ERROR	-	「杭天端、杭先端位置が地盤データ外」について	3023
			「土単位重量の計算震度が地盤データ外」について	3022
			「杭長データが不正」について	2389

カテゴリ			タイトル	文章番号
『BF1』	(ERROR)	(一)	「布基礎形状が不正」のエラーメッセージが出力される	2481
			「基礎(グループ)符号未入力」について	2359
			「杭符号未入力」について	2360
			「曲げを負担できない基礎がある」	2165
			「節点座標が重複(±2mm以下である)」について	2114
			エラーメッセージの確認方法	2045
			形状認識が正しくない	2044
			BF1の計算結果データに対象となる基礎梁データがありません	98
			SS2物件フォルダ****はベタ基礎です。計算の対象外です	97
	作図	—	『SS3』から柱の寄りがリンクされていない	3084
			『SS3』と『BF1』で梁の部材の寄りが異なる	2489
			入力した形状を確認したい	2049
			基礎梁応力図の荷重ケースについて	100
			隅切り形状が作図されない	99
	SoilBase	—	一度入力した「土質記号」を削除したい	105
			土質記号の入力方法について	104
	その他	—	粘性土と砂質土の判別方法	2150
			傾斜角 θ の初期値について	114
			『SS3』へリンクした基礎梁応力の確認方法	113
			ベタ基礎の地中梁が長期応力で降伏する	112
			”Preset“と”Preset2“について	111
			「未知のバージョンのファイルです」	110
			設計例のサンプルデータが欲しい	109
			初期値にする方法	108
			既製杭リストに登録したデータの移動方法	107
			リンク	—
	「基礎関連(Op.F1)の結果が無いため、「基礎反力」の代わりに「支点反力」を転送または比較しました。」について	2557		
	[選定配筋の読込]が指定できない	106		
	「柱寸法未入力でフーチング断面算定ができない」について	2402		
	基礎床組(ベタ基礎)がリンクされない	2325		
	『SS3』からリンクする終局時の軸力について	2154		
	地盤Noがマイナス符号となる	102		

カテゴリ	タイトル	文章番号	
『WRC』	入力	壁・曲げ補強筋・フレーム外雑壁 多スパンに互る壁を1つの符号で配置したい	2197
		開口補強筋を変更したい	1401
		フレーム外雑壁が配置できない	1368
		耐力壁の実長を確認したい	1365
		同じ壁厚で配筋が異なる部材を登録したい	1358
		開口際の曲げ補強筋を入力したい	1350
	壁梁・基礎梁	壁梁(符号)を配置していない箇所の配筋の採用	2075
		布基礎形状を入力しない場合の認識について	2370
		ダミー部材を使いたい	2201
		多スパンに互る壁梁を1つの符号で配置したい	2198
		腰壁の剛性を考慮して応力解析し、腰壁を含めない断面で断面検定を行いたい	2167
		ミラー配置の指定ができない	2138
		雑壁により分かれた壁梁を1本に扱いたい	2074
		腰壁を含む壁梁になっていない	2073
		部分地下形状に基礎梁を配置できない	1409
		基礎梁を下端揃えで入力する方法	1407
		1FLの壁梁と基礎梁の違いについて	1392
		2段筋の径を変更したい	1367
		2段筋の入力方法	1342
		開口・開口包絡	1枚の壁に複数の開口を配置したい
	開口の距離の入力について		1384
	開口包絡の選択解除の使用方法		1369
	開口包絡の解除方法について		1363
	既に配置済みの開口を他の壁にも配置したい		1348
	床・小梁・片持ち床・片持ち梁	スパンが狭いところに片持ち床を配置できない	3076
		片持ち床の出の長さを変更したい	2685
		片持ち床のあきを入力したい	2465
		片持ち床先端小梁の入力方法	2471
		3辺固定や2辺固定の床を配置したい	1398
		片持ち床の登録方法について	1388
		2次小梁、3次小梁の配置をしたい	1382
		小梁の間隔について	1378

カテゴリ	タイトル	文章番号	
(『WRC』) (入力)	(床・小梁・片持ち床・片持ち梁)	小梁個別詳細設定の押さえについて	1377
		出の長さが異なる片持ち床を配置したい	1375
		基礎スラブ層に床を配置したい	1362
		一部吹き抜けになる床の入力について	1352
		小梁の間隔を変更したい	1343
	支点	杭頭曲げモーメントの直接入力について	3545
		自動認識された支点を無くしたい	3073
		平面図でフレームの交点に支点を配置できない	2419
		“壁脚支点の自動認識を行う”について	2079
		支点を解除(フリー・自由)にしたい	2078
		L字形コーナーの支点のモデル化について	2077
		配置した支点の位置を調整したい	1415
		支点を配置しても不安定架構になる	1410
		支点の配置について	1408
		荷重・土圧・パラペット	仕上げの配置について
	特殊荷重を9個以上登録したい		2552
	基礎スラブ層の床に積載荷重を配置したい		2192
	節点位置に特殊荷重を作用させたい		2128
	積雪荷重を考慮する方法について		2080
	壁土圧・水圧配置の指定ができない		1411
	梁標準仕上リストは小梁にも考慮されるか		1402
	リブ先端に特殊荷重が配置できない		1396
	片持ち床(バルコニー)の先端に手摺り荷重を配置したい		1395
	i端、j端について		1393
	仕上げ登録の厚さについて		1390
	床仕上登録について		1386
	異なる形状のパラペットを配置したい		1381
	特殊荷重(梁・壁)の位置の負値入力について		1376
	ある部材だけ仕上げなしにしたい		1371
	ある開口だけ開口重量をなしにしたい	1370	
	特殊荷重リストから登録した特殊荷重を削除したい	1361	
	特殊形状・階・フレーム	入力したセットバックを削除する方法	3041

カテゴリ	タイトル	文章番号
(『WRC』) (入力) (特殊形状・階・フレーム) 計算関係・その他	地下階数(またはPH階数)を変更できない	3026
	地下階数(またはPH階数)を0とするとメッセージが出力される	3024
	「その位置に移動させることはできません。」が表示される	2329
	フレーム追加やフレーム延長などが指定できない	2418
	フレームの連結ができない	2378
	両方向からセットバックする形状の入力について	1414
	フレームの余長を変更したい	1400
	軸振れの指定をするとフレームの余長が斜めになる	1380
	通り名(フレーム名)を入力したくない	1359
	通り名(フレーム名)を変更したい	1357
	階を追加したい	1355
	階を削除したい	1354
	フレームを追加したい	1353
	GLから1階床までの高さを変更したい	1349
	フレーム名の表示位置を変更したい	1347
	節点の上下移動を入力したい	1344
	スパン長を変更したい	1340
	丸鋼を使用したい	2562
	外力の作用角度について	2449
	スラブ天から構造心までの距離を自動計算する際の基礎梁レベルの扱い	2452
	直交壁によるIの増大率のデフォルト値について	2246
	基礎形式を変更したい	2200
	壁柱の設計用せん断力の決定方法について	2085
	断面検定にねじれ補正係数を考慮したくない	2084
	スラブ天から構造心までの距離の入力について	2083
	計算条件のデフォルトを変更したい	2082
	内法長さが****m以下の壁梁は断面検定を省略するが有効にならない	2081
	部材No.を確認したい	2043
	出力項目が指定できない	1418
	部材リストのセルが黄色で表示されている	1406
	結果出力の部材リストの項目に指定できない項目がある	1405
	雑壁のn値の入力について	1404

カテゴリ		タイトル	文章番号	
『WRC』	(入力)	(計算関係・その他)	指定した出力項目を他の物件でも指定したい	1403
			基礎梁レベルの入力について	1394
			絶対座標の基点(0, 0)について	1389
			部材の削除方法について	1387
			エラー・ワーニングメッセージを確認したい	1383
			加力方向を指定したい	1373
			壁断面積の補正値の入力について	1372
			概要で入力した内容を他のデータで流用したい	1360
			範囲指定を斜めにしたい	1351
			特定のフレームを解析対象から外したい	1346
			躯体配置ができない	1341
			計算	—
部分地下の壁量算定における床面積について	3050			
浮き上がりの考慮について	3040			
【検証例】応力図に出力される壁応力について	2658			
【検証例】接地圧の検討のIx、Iyの計算(べた基礎)	2547			
【検証例】接地圧の検討のIx、Iyの計算(布基礎)	2501			
【検証例】壁梁の短期せん断設計における α の計算方法について	2152			
「壁率」のAwや「壁量」の $\Sigma(t * \text{実長})$ が「壁長さ」より計算した値と異なる	2486			
小開口と認識する条件について	2494			
壁梁の剛性にパラペットが考慮されない	2451			
概算支点反力の計算について	2440			
荷重増分解析における雑壁のせん断力の処理について	2380			
偏心率や剛性率に雑壁が考慮されない	2342			
壁のdtの入力について	2343			
平面解析と立体解析の違いについて	2272			
【検証例】「壁量」の床面積の計算方法について	2263			
【検証例】フレームごとで直交部分を考慮した場合のべた基礎の長期接地圧の計算について	2247			
【検証例】「破壊形式」の壁梁bMu'の算出方法について	2191			
WARNING No.809 Pwが1.2%を超える壁梁があります	2190			
WARNING No.858 Psが1.2%を超える耐力壁があります	2189			
下階壁抜けの形状でも耐力壁の実長を形状どおり評価したい	2180			

カテゴリ			タイトル	文章番号
『WRC』	(計算)	(一)	パラペットの仕上げについて	2137
			壁・壁梁・基礎梁に特殊荷重を配置した場合の認識	2131
			鉛直荷重時軸力がマイナスになる	2130
			解析対象から外したフレームの壁量について	2061
			耐力壁の長さについて	2060
			交差部の曲げ補強筋の本数と径について	2059
			地震力を求める高さ(h)について	2051
			立体解析の耐震壁周りの基礎梁の剛性について	2047
			直交壁の厚みを考慮して開口配置した場合の壁・支点の認識について	2046
			剛床仮定の解除について	1310
			層間変形角算定時に採用する階高について	1309
			壁梁断面検定の0.004bdの検討について	1307
			壁量算定時の片持ち床・出隅の面積について	1306
			小さな開口を入力した場合の壁の認識について	1305
			鉄筋コンクリートの単位重量について	1304
			サーチャージ重量の考慮について	1303
			節点の上下移動した場合の壁梁の認識について	1301
			壁梁のスターラップを増やしても長期許容せん断力が変わらない	1300
			壁厚の規定を満たさない壁の壁量計算について	1298
			梁標準仕上げリストについて	1297
	標準開口重量について	1296		
	壁梁の終局時設計用せん断力計算時のFesoについて	1295		
	出力	—	全重量が $\sum W_i$ より小さい	3576
			支点の回転反力の確認方法	3577
			直接入力した杭頭曲げを確認したい	3601
			伏図に表示されているスパン長の表示位置を変更したい(結果出力)	3052
			壁特殊荷重が下層に表示される	2687
$\sum W_i$ と全重量が異なる			2647	
床Noを確認したい			2646	
部材リストでコンクリートや鉄筋の材料、dtが表示されるものとされないものがある			2576	
「部材応力図」と「壁柱応力表」で値が異なる			2572	
「換算スラブat」について			2570	

カテゴリ	タイトル	文章番号
(『WRC』)	(出力)	(一)
	脆性破壊していないのに“脆性破壊が発生した***Stepを終局状態とする”と出力される	2548
	水平荷重時の応力図と応力表の値が異なる	2476
	形状特性係数が1.5を超えている	2515
	構造階高を確認したい	2478
	設計規準による場合の壁量の出力について	2368
	平均 $\tau > \tau_o / (Fes \cdot \beta)$ であるのに判定が“OK”となる	2401
	加力している直交フレームの応力結果を確認したい	2204
	建物重量の集計値を確認したい	2203
	「支点反力表」の「水平(X)」がフレームごとで同じ数値になっている	2166
	入力した壁梁断面が有効にならない	2089
	壁梁の端部に応力が発生する	2088
	ねじれ補正係数について	2087
	「長期応力」の結果の応力位置について	2086
	「基礎・地盤-CMoQo表」の接地圧について	2068
	$\sum 2.5Aw + \sum 0.7Ac \geq ZWai \beta$ の出力結果について	2067
	接地圧図のL、Rについて	2064
	支点をフリーにした節点の変位の確認方法について	2063
	MAS(許容曲げ応力)が0(ゼロ)になる	2062
	「軸力図」の床割りの線の色を濃くしたい	2055
	出力結果の文字が重なるので出力を見やすくしたい	2042
	任意の荷重ケースで支点反力図を印刷したい	2041
	壁量に“*”が出力されている	2040
	「支点反力」とサーチャージについて	2039
	断面検定結果を省略したい	1451
	断面検定比図の出力方法について	1448
	水平剛性が0.00となるフレーム外雑壁がある	1446
	2段筋の主筋の表示について	1455
	部材配置図などに出力されるの片持ち床の横の番号について	1444
	[保有水平耐力-破壊形式]の「0-----0」、「-----」の意味について	1443
	必要壁厚1、必要壁厚2について	1422
	「部材配置図」に一部の壁が表示されていない	1441
	基礎梁断面検定のOTの出力について	1440

カテゴリ		タイトル	文章番号			
(『WRC』)	(出力)	(一)	「構造モデル化図(軸組形式)」の出力に壁の実長の出力がされていない	1436		
			壁柱の軸力値について	1435		
			接地圧を考慮した応力の確認方法	1433		
			壁梁断面検定出力の部材No.について	1432		
			符号まとめた断面検定の出力方法	1430		
			総曲げ抵抗モーメントが一致しない	1429		
			梁符号が表示されていない	1426		
			検定結果の壁厚の値について	1425		
			画面に表示されたままの状態を印刷したい	1424		
			基礎梁の断面検定結果が出力されない	1423		
			支点反力の結果について	1422		
			曲げ補強筋の径が変更されていない	1420		
			ERROR・WARNING	ERROR	「ERROR No.2 基礎底面積がないため、接地圧の計算を行うことができません。」	3568
					「ERROR No. 21 剛性マトリックス, 不安定な架構です。」	2671
「ERROR No.9 節点の並びを正しく認識できません。」	2439					
ERROR No.16 配置されている床を横切る部材が存在します。該当する床を一度削除してから、再度配置を行ってください。	2441					
ERROR No.24 設計応力が許容耐力を超えている壁梁があります	2353					
層間変位が0.0となっています、水平剛性が0.0となっていますのエラーについて	2202					
「ERROR No.24 設計応力が許容耐力を超えている壁梁があります」が出力されたが、該当部材がない。	1317					
ERROR No.3 支点が有りません	1316					
偏心率、剛性率のエラーについて	1315					
WARNING	「WARNING No.28 耐力壁下部の全域を有効に支える部材がないため実長を低減します。」	2586				
	WARNING No.14 フレーム毎の壁量の最大値と最小値の比が2.0を超えています	2561				
	「WARNING No.12 終局時設計用せん断力が終局せん断耐力を超えています。」について	2429				
	WARNING: No. 13 曲げ補強筋が不足しています	2429				
	「WARNING No.411 床組内で断面の異なる箇所があります。」	2392				
	「WARNING No.24 せん断補強筋間隔が梁せいの1/2を上回っています。」について	2421				
	荷重パラメータは不正ではないのに「Warning No.62 梁に配置された特殊荷重のパラメータが不正です。」が出力される	2160				
	偏心率、剛性率のワーニングについて	2092				
	WARNING No.7 断面の異なる梁を1部材として認識しています	2091				
	「Warning No.111 全域を有効に支えられない耐力壁があります。」について	2090				
Warning201壁または梁に支えられない耐力壁があります	1328					

カテゴリ		タイトル	文章番号	
『WRC』	(ERROR・WARNING)	(WARNING)	「WARNING No.810 設計応力が許容耐力を超えている壁梁があります、WARNING No.811 設計応力が終局耐力を超えている壁梁があります、WARNING No.906 終局時設計用せん断力が終局せん断耐力を超えている壁梁があります」が出力されたが、該当部材がない	1327
			WARNING No.206 床割り計算が正しくできなかった床があります	1326
			WARNING No.521 境界梁応力の再配分で再配分した応力が元の応力の20%を超える壁梁があります	1325
			WARNING No.912 崩壊メカニズムを形成していない時点を終局状態としています	1324
			WARNING No.22 内法高さがないため、 $dQu=QL+\alpha \cdot Feso \cdot QE$ とします	1323
			WARNING No.21 内法高さがないため、 $dQs=n \cdot QE$ とします	1322
			WARNING No.1 複数の異なる断面リストを使用しています	1321
			壁梁断面検定でpwについてのWARNINGメッセージが出力される	1319
		作図	—	「3D図」が指定できない
			伏図に表示されているスパン長の表示位置を変更したい(作図)	3049
			分割出力の対応項目について	2387
			作図で接地圧の結果が出力されない。	2175
			フレーム外雑壁を指定した際に表示される赤丸について	2094
			応力解析時の架構形状を確認したい	2093
			耐力壁まわりの基礎梁の応力を確認したい	1314
			通り名の文字サイズを変更したい	1313
	その他	—	プログラム起動時に表示されない物件データがある	1339
			『WRC』のチェックリストについて	1338
			評価取得、大臣認定書、評価書、指定書について	1337
			計算結果CSV出力の出力ファイル名と出力先について	1336
			ヘルプの表示方法について	1335
			[躯体配置]の平面図・立面図でピンク色に表示される部材について	1334
			データのファイルサイズを小さくしたい	1333
			データのコピーや、入力データのみを保存する方法について	1332
			物件ファイルのバックアップが作成される場所について	1331
			データを削除したい	1330
			コントロールバーを表示させたい	1329

カテゴリ	タイトル		文章番号		
『RC診断 2001』	入力	建物規模	基礎下から1階床までの高さについて	403	
			各階床面積の入力について	401	
			建物重量の入力について	391	
		耐震診断 方法	3次診断が指定できない	2052	
			“柱の検討方向と直交する耐震壁の η_r 及び η_R は、その壁自身の破壊形式より決定する”が指定できない	402	
		壁の配筋/ 雑壁の追加	壁配筋を断面積入力する際の鉄筋径について	406	
			壁の配筋で丸鋼と異形鉄筋を使用する場合の入力について	396	
		鉛直部材の 直接入力	ブレース耐力の直接入力について	413	
			鉛直部材の直接入力で、フレーム外雑壁(雑壁)に対して入力する番号について	397	
			連スパン耐震壁の Q_u の直接入力について	395	
			鉛直部材の直接入力を入力した値を消去したい	394	
			地震時付加軸力を未入力に戻したい	393	
			地下階のあるデータを利用した場合の鉛直部材の直接入力について	392	
			地震時 付加軸力	『SS2』からリンクされる地震時付加軸力について	417
		地震時付加軸力の更新について		412	
		地震時付加軸力で“解析結果の利用”が指定できない		400	
		増設ブレース	[増設ブレース]の画面上のアンカー、スタッド、ブレース単体の耐力が表示されない	411	
		袖壁反曲点高 さの直接入力	袖壁付柱の反曲点高さに『SS3』の結果を採用したい	2638	
		その他	[非埋込み柱脚部の終局強度]で入力する柱符号の“番号”について	2639	
			梁の危険断面位置を調整したい	2403	
			接合部形式に応じた低減係数の考慮について	2240	
			『SS3』で入力した厚さ10cm以上の雑壁を考慮したい。	2146	
			RC造とSRC造の混合建物の診断を行いたい	2113	
			第2種構造要素に関する出力が指定できない	416	
			再配分軸力の伝達先を指定したい	415	
			入力単位系をSI単位にしたい	410	
			軸力に概算軸力を用いたい	409	
			雑壁の耐力を無視したい	408	
			耐震壁にならない壁を耐震壁にする方法	405	
			柱の内法寸法(h_o)を変更したい	399	
			「表紙」や「耐震性能診断表」に出力される建物の名称や場所を入力したい	398	
		計算	1次診断	耐力に考慮する雑壁の条件について(1次診断)	2139

カテゴリ	タイトル	文章番号		
『RC診断 2001』	計算	2・3次診断	Muの計算における弱軸方向の鉄骨の考慮について	3071
			両側柱付壁の付帯柱にRC柱とSRC柱が混在する場合の扱いについて	3028
			袖壁付柱の反曲点高さの直接入力 that 考慮されない	2668
			1次設計における柱の強度指標Ccが手計算と異なる	2058
			強度指標算定時における連スパン耐震壁のAwについて	342
			SRC両側柱付壁Mu計算時の引張側柱の認識について	2624
			鉄筋・鉄骨の材料強度について	2410
			SRC柱で軽量コンクリートを指定した箇所の低減について	2577
			増設ブレースの破壊タイプ I のF値が2.00より大きい	2555
			Qsu算定時のPt(Pte) ≥ 0.1%について	2554
			両側柱付壁に取り付く袖壁部分のQsuについて	2553
			連層のフレーム面内雑壁を配置したい	2504
			[設計-耐震診断方法-36.フレーム面内雑壁の反曲点高さ]で指定した“<1>階高の1/2”が反映されない	2464
			袖壁付柱に対する反曲点高さの取り扱い“<2>hcwoを0.5hoとする”について	2463
			袖壁付柱に非埋込み柱脚を指定したときの耐力評価について	2372
			非埋込み柱脚を指定した箇所のQMuが手計算と合致しない	2373
			非埋込み柱脚を有するSRC柱のsMo/Moについて	2284
			高強度せん断補強筋の扱いについて	2148
			片側袖壁付柱のQsu1・Qsu2が同じ値となったときの破壊形式について	2309
			耐力に考慮する雑壁の条件について(2次・3次診断)	2249
			sMo/Moの計算における弱軸鉄骨について	2233
			CB指標算定時のTuが手計算と異なる	2228
			SRC袖壁付き柱の単層形式と連層形式の区別について	2208
			SRC部材に低強度コンクリートを使用した場合の扱いについて	2194
			【検証例】曲げ柱の靱性指標Fの算出方法について	2149
			3次診断における壁の外力分布形の算出方法について	2127
			丸柱(円柱)の置換方法について	2126
			耐震壁(両側柱付壁)のQsu算定時に乗じる開口による低減率γについて	2125
			柱Muの計算において直交壁が考慮されない	2054
			『SS3』で入力した柱の寄筋の対応について	2053
			曲げ耐力の計算で引張側の袖壁を考慮している	371
			連スパン耐震壁のQsuの計算について	369

カテゴリ		タイトル	文章番号	
『RC診断2001』	(計算)	(2・3次診断)	壁の直交梁の考慮について	368
			F値を直接入力した場合の強度寄与係数 α について	367
			2、3次診断の雑壁の τ_{ul} について	366
			出力項目によって R_{my} が異なる	358
			袖壁増設の低減係数 ϕ が考慮されない	357
			梁配筋が未入力の状態での2次診断	356
			完全塑性理論(ピース分割)による計算内容について	353
			(4)式のC2(又はC3)の集計結果が異なる	349
			「鉛直部材の諸元(軸組)」と「グループ単位の各種柱・壁ごとの Q_u とF指標」のTotalが異なる	348
			hcwoが手計算と異なる	347
			「袖壁付柱の終局せん断強度」において b_e が手計算と異なる	345
	第2種構造要素	Fu=1.0、1.27、2.0、3.0以外の η_r (η_R)について	2057	
		増設ブレースを配置した場合の第2種構造要素の検討について	370	
	形状指標	耐震壁や袖壁のプロポーション h/l について	2193	
		形状指標(SD)を求める際のフレーム外雑壁の α 値について	2116	
		増設ブレースの形状指標への考慮について	364	
		『耐震診断』と『RC診断2001』の剛性が異なる	361	
		形状指標(SD)を求める際の h と l について	350	
		形状指標SDが1.0以上になる	341	
		その他	90° フックの取り扱いについて	2507
	フレームの外に配置した雑壁がフレーム面内雑壁と認識される		2503	
	鉄筋径を断面積入力した際の材料強度について		373	
	フレーム倍率の算出方法について		2142	
	フレーム外雑壁の h_w について		372	
	[低強度コンクリートに対する低減係数]で指定した低減係数について		365	
	柱の内法高さが正しく認識されない		363	
	偏心率が0.15を超える場合の検討について		362	
	両側袖壁付きの場合の[袖壁を考慮する長さの下限値]について		360	
	隅切り部分の耐震壁の考慮		359	
	フレーム倍率が考慮されない		355	
	傾斜地に立つ建物の重量を低減したい		352	
	『US2(改)』データ利用時における A_i 分布の逆数の計算方法		351	

カテゴリ		タイトル	文章番号	
(『RC診断2001』) 出力	(計算)	連スパン耐震壁の開口による低減率 γ について	343	
	(その他)	鉛直部材の諸元へ出力されるA(断面積)が配置した断面と異なる	2056	
	1次診断	2・3次診断	Hoが0.0と出力されている	3065
			「SRC袖壁付柱の終局せん断強度」でQsu2が出力されない	3048
			柱頭のMuが“0”と出力される	2667
			面内雑壁の破壊形式に“指定なし壁”と出力される	2450
			すべての組合せ結果が出力されている「耐震性能診断表」が出力されない	2296
			SRC(充腹形)の曲げ柱のF値が1.0となる	2265
			SRC部材の柱脚部を考慮した結果が出力されない	2118
			「グループ単位の各種柱・壁ごとのQuとF指標」と「グループ単位の各種柱・壁の α と αC 」が出力されない	2066
			0.4<pwの ηr (または ηR)が採用されない	453
			「柱軸力」が『SS2』の長期軸力と異なる	452
			梁のせん断余裕度に差が無いのにF値が大きく異なる	450
			「診断結果比較」と「Is算定時にグルーピングした組み合わせ結果」のIsが異なる	446
			回転壁と判定されているのに最上階の壁QuがPRと異なる	444
			「耐震性能診断表」へ出力されるF値がFu値と異なる	443
			「雑壁配置」における“雑壁No”と“フレーム外雑壁No”について	440
			「耐震性能診断表」へ出力される(Nr<N)の数が変わる	435
			「耐震性能診断表」であるFu値における結果しか表示されない	434
			ho/D \geq 2.0であるにもかかわらず、極脆性袖壁付柱として認識される	430
			形状どおりのモデル化にもかかわらず柱頭と柱脚でQsu1が同じになる	427
			柱頭のMuが“----”と出力される	425
	両側柱付き壁のQsuにおいて梁主筋が考慮されない	424		
	増設ブレース		「増設ブレースのF指標とQu」の出力でQsu1~Qsu4に*が付かない	451
			「増設ブレースのF指標とQu」の出力でBQuが0(ゼロ)になる	449
	第2種構造要素		グループ毎の結果を確認すると ΣW の隣にFuが出力される	2677
			「第2種構造要素の検討が必要な柱部材」へ出力される“S”、“X”について	2676
			「軸力再配分の検討」の軸力が長期軸力と異なる	442
			「柱部材の残存軸耐力と軸力支持能力」でcNr+wNr \neq 0であるのにNr=0となる	441
			残存軸耐力及び軸力支持能力が“----”と出力される	426
	形状指標		入力データの形状指標の項目にSDの値が出力されない。	2140
			「第2種構造要素の検討が必要な柱部材」においてNRが----で出力される	433

カテゴリ		タイトル	文章番号			
『RC診断2001』	(出力)	(形状指標)	グレードが指定した数値と異なる	429		
			形状指標の直接入力反映されない	423		
		その他	「残存軸耐力の η_r または軸力支持能力の η_R が変更されています」	2487		
			『SS3』で入力した梁主筋本数と異なる	2432		
			「柱軸力」が『US2(改)』の長期軸力と異なる	2120		
			評価番号が出力されない	448		
			US2データ利用で地震時付加軸力がゼロになる	447		
			『SS2』の[8.8基礎自重]の考慮について	445		
			梁、柱符号が正しく認識されない	438		
			入力した階数よりも少ない階数で診断される	437		
			雑壁(フレーム外雑壁)の軸力が0(ゼロ)になる	431		
			「柱軸力」が『SS2』の長期軸力と異なる	428		
			出力指定をしていない加力方向に対するエラーメッセージが出力される	422		
			ERROR・WARNING	ERROR	run-time errorが発生する	3079
					ERROR No.85 ピース断面分割において、柱の鉄筋重心位置dtxを2倍した長さが柱せいの1/2を超えています	3047
ERROR No.63 柱軸力が軸耐力以上または柱Qmuが0であるため、計算できません(『US2』計算結果利用時)	2633					
WARNING No.205 中間梁が取付かない吹き抜け柱が存在します	2579					
ERROR No.13 適用範囲外の増設ブレース配置があります	2564					
ERROR No.12 \$\$\$\$フレームに、適用範囲外の壁配置があります	2541					
ERROR No.23 『SS3』計算結果に「Ai分布」がありません。地震力まで計算してください	2525					
ERROR No.24 『SS3』計算結果に「Fe」、「Fs」がありません。ルート判定まで計算してください	2524					
ERROR No.22 『SS3』計算結果に「各階重量」がありません。荷重計算まで計算してください	2523					
ERROR No.21 『SS3』計算結果に「各階床面積」がありません。荷重計算まで計算してください	2522					
ERROR No.75 柱に不正な鉄骨断面が入力されています	2496					
ERROR No.76 梁に不正な鉄骨断面が入力されています	2497					
ERROR No.72 梁せいが小さ過ぎるため、終局耐力が計算できません	2498					
「ERROR No.71 吹き抜け柱に対する対象階に鉛直部材の直接入力指定されていません。」について	2352					
ERROR No.63 柱軸力が軸耐力以上又は柱Qmuが0であるため、計算できません	384					
計算途中の強制終了について	389					
ERROR No.67 独立柱と袖壁付柱が混在する吹き抜け柱であるため、計算できません	388					
ERROR No.5 2次診断、3次診断を行う場合、壁について鉄筋の入力が必要です	387					
ERROR No.30 引抜き抵抗力又は圧壊耐力が指定されていないため、計算できません	386					

カテゴリ		タイトル	文章番号	
『RC診断2001』	(ERROR・WARNING)	(ERROR)	ERROR No.26 柱の内法高さが0以下になっています	385
			ERROR No.33 耐震壁の周りに柱が存在していません	383
			ERROR No.11 下層柱抜けがあります	382
		WARNING	WARNING No.115 鉄筋コンクリート造柱に鉄骨造梁が取り付けられています	2875
			WARNING No.173 RC柱の主筋本数が3本以下のため、寄筋の指定を無視します	2674
			袖壁付柱の保有せん断力が下階で減少している	2673
			WARNING No.205 中間梁が取付かない吹き抜け柱が存在します	2579
			WARNING No.133 増設ブレースの配置で、無効なデータがあります	2535
			WARNING No.120 丸柱を全て正方形柱に置換しました	2531
			WARNING No.114 鉄骨造柱が配置されています	2530
			「WARNING No.172 フレーム面内雑壁の内法高さが0以下になっています。保有せん断力を0とします。」	2508
			WARNING No.166 柱脚部のせん断終局強度の算定で、柱軸力が引張軸耐力を超えています	2121
			WARNING No.131 長さが30cm以下、かつ、壁厚の3倍以下の袖壁が柱にとりついています	390
			作図	作図
作図の平面図や立面図で部材色を変更したい	2326			
作図をSI単位で表示したい	2071			
[作図]の必要C・F曲線の計算方法について	381			
[作図]の“補強用“の項目が指定できない	380			
作図のC-F関係図のIs値について	379			
「階とIs関係図」でIsが0(ゼロ)になっている	378			
C-F関係図上にC値(またはQu値)を表示させたい	377			
C-F関係図の目盛りを調整したい	376			
F値や破壊形式を作図で確認したい	374			
リンク・その他	リンク	Fesのリンクについて		
		地震時付加軸力の割増率の考慮について	2477	
		『SS3』で登録した非充腹材の対応について	2196	
		『SS3』で入力した柱個別のdtのリンクについて	2072	
		多剛床の指定をしたデータの扱いについて	420	
		一本部材の指定のリンクについて	419	
		『US2(改)』データ利用におけるFeとFsについて	418	
		その他	「古いバージョン(耐震診断123)のデータです。」と表示されデータが開けない	3051
	物件データ情報を確認したい		2582	

カテゴリ			タイトル	文章番号
(『RC診断 2001』)	(リンク・その他)	(その他)	[開く]にデータが表示されない	421

カテゴリ		タイトル	文章番号	
『耐震診断』	入力	—	地震時付加軸力の更新について	471
			軸力に概算軸力を用いたい	470
			雑壁の耐力を無視したい	469
			[雑壁の追加]で断面積入力する際の鉄筋径について	468
			鉛直部材の直接入力で入力した値を消去したい	467
			「表紙」や「耐震性能診断表」に出力される建物の名称や場所を入力したい	466
			地下階のあるデータを利用した場合の鉛直部材の直接入力について	465
			地震時付加軸力を未入力に戻したい	464
			鉛直部材の直接入力で、フレーム外雑壁に対して入力する番号について	463
			SRC造の建物で3次診断が指定できない	462
			「データが未入力です」と表示される	461
			地震時付加軸力で“解析結果の利用”が指定できない	460
			連スパン耐震壁のQuの直接入力について	459
			基礎下から1階床までの高さについて	458
			建物重量の入力について	457
			柱の内法寸法(ho)を変更したい	456
			耐震壁にならない壁を耐震壁にする方法	455
	計算	—	両側柱付壁の付帯柱に取り付く直交壁の有効長さ	1452
			脆性柱が存在しないのに(9)式でグルーピングされる	490
			偏心率が0.15を超える場合の検討について	489
			$sM_o/M_o \geq 0.3$ のせん断柱のF値が1.0となる	488
			形状指標SDが1.0以上になる	487
			ho/DのDにそで壁長さが含まれていない	486
			軸力の検討における $sA \cdot A_{cel}$ について	485
			そで壁付柱と柱付き壁の区別について	484
			多剛床の指定をしたデータの扱いについて	483
			入力した階数よりも少ない階数で診断される	482
連スパン耐震壁のQsuの計算について			481	
直交壁の考慮が有効とならない			480	
袖壁付き柱のNcuが2次診断と3次診断で異なる			479	
回転壁の判定について	478			
袖壁付柱のN/bDFcにおけるbDIについて	477			

カテゴリ			タイトル	文章番号
『耐震診断』	(計算)	(一)	梁配筋が未入力の状態での2次診断の計算	476
			袖壁の長さが45cm未満であるにもかかわらず“片側柱付壁”になる	475
			柱(充腹形)で柱脚RCとした場合のせん断終局強度(Qsu)の算定方法	474
			『US2(改)』のデータ利用時におけるAi分布の逆数の計算方法	473
			形状指標(SD)を求める際のhとlについて	472
			断面ピース内の鉄筋について	454
	出力	-	US2データ利用で地震時付加軸力がゼロになる	504
			US2結果利用時における節点振り分けについて	503
			『US2(改)』結果利用時における危険断面位置λLについて	502
			鉛直部材の諸元とグルーピングした結果に出力される保有せん断力の総和が異なる	501
			鉛直部材の諸元に出力されるA(断面積)が配置した断面と異なる	500
			第2種構造要素の検討のτが“---”と出力される	499
			せん断梁支配型柱(sMo/Mo≥0.4時)のF値が基準値よりも大きい	498
			終局塑性率μが0(ゼロ)となる	497
			グレードが指定した数値と異なる	496
			『SS2』で入力した梁主筋本数と異なる	495
			形状指標の直接入力反映されない	494
			梁、柱符号が正しく認識されない	493
			『US2(改)』の柱Quと『耐震診断』の柱Qsuが異なる	492
			柱なし壁の軸力が0(ゼロ)になる	491
	ERROR	-	データを開く際にエラーが発生する	511
			ERROR No.63 柱軸力が軸耐力以上又は柱Qmuが0であるため、計算できません	510
			ERROR No.33 耐震壁の周りに柱が存在していません	509
			ERROR No.30 引抜き抵抗力又は圧壊耐力が指定されていないため、計算できません	508
			ERROR No.61 梁両端の降伏モーメントから求める付加軸力が計算できません	507
			ERROR No.12 適用範囲外の壁配置があります	506
			ERROR No.26 柱の内法高さが0以下になっています	505
	WARNING	-	WARNING No.116 長期軸力が柱内の鉄骨と鉄骨バンド内のコンクリートで支持できる終局軸圧縮力を超えています	515
			WARNING No.123 終局耐力の直接入力で、無効なデータがあります	514
			WARNING No.106 応力解析まで計算していないので「柱軸力」に「概算軸力」をとります	513
			WARNING No.121 鉛直部材の直接入力で、無効なデータがあります	512
	リンク	-	一本部材の指定のリンクについて	516

「Q&A」閲覧方法

文章番号による検索方法

- ① [ログインする]ボタンをクリックし、ログインします。
- ② 「・文章番号から探す」入力欄に閲覧したい「Q&A」の文書番号を入力します。
- ③ [検索]ボタンをクリックします。

The screenshot shows the Q&A section of the UNION SYSTEM website. At the top, there is a navigation menu with 'Q&A' selected. Below the menu, there is a '現在位置' (Current location) indicator showing 'トップページ > Q&A'. The main content area is titled 'Q&A' and includes a '更新日' (Update date) of 2011年05月26日 and a 'Q&A掲載数' (Number of Q&A posts) of 2039選. A yellow warning box states that the page contains software purchase limited content and requires login. On the right side, there is a '会員メニュー' (Member menu) with a 'ログインする' (Login) button, which is circled with a red box and labeled with a circled '1'. Below the main content, there are two search sections: 'キーワードから探す' (Search by keyword) and '文書番号から探す' (Search by document number). The '文書番号から探す' section has a search input field with a placeholder '5桁数字で検索できます' (Search with 5-digit numbers) and a '検索' (Search) button, which is circled with a red box and labeled with a circled '3'. The 'キーワードから探す' section has a 'カテゴリ' (Category) dropdown menu and a 'キーワード' (Keyword) input field, with a circled '2' next to the dropdown. A circled '1' is also present near the '更新日' text.